

地理歴史 (歴史総合)

発 番 号	行 名	者 略 称	教 科 書 の 記 号 番 号	判 型	総 ペ ー ジ 数	検 定 済 年
2	東京書籍	東書	歴総 701	A B	222	令和3年
2	東京書籍	東書	歴総 702	B 5	246	
7	実教出版	実教	歴総 703 ◆	B 5	262	
7	実教出版	実教	歴総 704 ◆	A B	222	
35	清水書院	清水	歴総 705 ◆	A 4	156	
46	帝国書院	帝国	歴総 706 ◆	A B	238	
81	山川出版社	山川	歴総 707 ◆	B 5	254	
81	山川出版社	山川	歴総 708 ◆	A B	262	
81	山川出版社	山川	歴総 709 ◆	A B	182	
183	第一学習社	第一	歴総 710 ◆	A B	238	
183	第一学習社	第一	歴総 711 ◆	A B	214	
221	明成社	明成社	歴総 712	B 5	202	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

歴史総合							冊数	12冊
発行者の略称・ 教科書の番号	東書701 山川708	東書702 山川709	実教703 第一710	実教704 第一711	清水705 明成社712	帝国706	山川707	

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【地理歴史の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【歴史総合の目標】

社会的な事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【歴史総合の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
A 歴史の扉 (1) 歴史と私たち (2) 歴史の特質と資料 B 近代化と私たち (1) 近代化への問い (2) 結び付く世界と日本の開国 (3) 国民国家と明治維新 (4) 近代化と現代的な諸課題 C 国際秩序の変化や大衆化と私たち (1) 国際秩序の変化や大衆化への問い (2) 第一次世界大戦と大衆社会 (3) 経済危機と第二次世界大戦 (4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	(1) 内容の全体にわたって、次の事項に配慮するものとする。 ア この科目では、中学校までの学習との連続性に留意して諸事象を取り上げることにより、生徒が興味・関心をもって近現代の歴史を学習できるよう指導を工夫すること。その際、近現代の歴史の変化を大観して理解し、考察、表現できるようにすることに指導の重点を置き、個別の事象のみの理解にとどまることのないよう留意すること。 イ 歴史に関わる諸事象については、地理的条件と関連付けて扱うとともに、特定の時間やその推移及び特定の空間やその広がりの中で生起することを踏まえ、時間的・空間的な比較や関連付けなどにより捉えられるよう指導を工夫すること。

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
<p>D グローバル化と私たち</p> <p>(1) グローバル化への問い</p> <p>(2) 冷戦と世界経済</p> <p>(3) 世界秩序の変容と日本</p> <p>(4) 現代的な諸課題の形成と展望</p>	<p>ウ 近現代の歴史と現代的な諸課題との関わりを考察する際には、政治、経済、社会、文化、宗教、生活などの観点から諸事象を取り上げ、近現代の歴史を多面的・多角的に考察できるようにすること。また、過去の視点のみで一面的に現在を捉えたり、現在の視点のみで一面的に過去を捉えたりすることがないように留意すること。</p> <p>エ 年表や地図、その他の資料を積極的に活用し、文化遺産、博物館や公文書館、その他の資料館などを調査・見学したりするなど、具体的に学ぶよう指導を工夫すること。その際、歴史に関わる諸資料を整理・保存することの意味や意義に気付くようにすること。また、科目の内容に係る専門家や関係諸機関などとの円滑な連携・協働を図り、社会との関わりを意識した指導を工夫すること。</p> <p>オ 活用する資料の選択に際しては、生徒の興味・関心、学校や地域の実態などに十分配慮して行うこと。</p> <p>カ 指導に当たっては、客観的かつ公正な資料に基づいて、事実の正確な理解に導くとともに、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を育成すること。その際、核兵器などの脅威に着目させ、戦争や紛争などを防止し、平和で民主的な国際社会を実現することが重要な課題であることを認識するよう指導を工夫すること。</p> <p>(2) 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>ア 内容のA、B、C及びDについては、この順序で取り扱うものとし、A、B及びC並びにDの(1)から(3)までの学習をすることにより、Dの(4)の学習が充実するように年間指導計画を作成すること。</p> <p>イ 内容のAについては、次のとおり取り扱うものとする。この科目の導入として位置付け、(1)、(2)の順で取り扱うこと。また、中学校社会科の学習の成果を踏まえ、より発展的に学習できるよう留意するとともに、B、C及びDの学習の基盤を養うよう指導を工夫すること。</p> <p>ウ 内容のBについては、次のとおり取り扱うものとする。 (1) については、中学校までの学習及びAの学習を踏まえ、学習内容への課題意識をもたせるとともに、(2)、(3)及び(4)の学習内容を見通して指導すること。</p> <p>エ 内容のCについては、次のとおり取り扱うものとする。 (1) については、中学校までの学習並びにA及びBの学習を踏まえ、学習内容への課題意識をもたせるとともに、(2)、(3)及び(4)の学習内容を見通して指導すること。</p> <p>オ 内容のDについては、次のとおり取り扱うものとする。 (1) については、中学校までの学習並びにA、B及びCの学習を踏まえ、学習内容への課題意識をもたせるとともに、(2)及び(3)の学習内容を見通して指導すること。</p>

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）	数値データの単位
a 大項目（「A 歴史の扉」、「B 近代化と私たち」、「C 国際秩序の変化や大衆化と私たち」、「D グローバル化と私たち」）ごとのページ数	第2章第2節 第2款 目標及び内容の取扱い「(1)ウ近現代の歴史を多面的・多角的に考察」	ページ、%
b 設定された主題に係る問いの数	第2章第2節 第2款 目標及び内容の取扱い「(1)ア近現代の歴史の変化を大観して理解し、考察、表現」	個
c 地域の文化遺産、博物館や資料館の調査・見学などを取り入れるよう工夫している学習の箇所数	第2章第2節 第2款 目標及び内容の取扱い「(1)ウ地域の文化遺産、博物館や資料館の調査・見学などを取り入れる工夫」	個
d 発展的な内容を取り上げている箇所数	第1章総則 第2款 3(5)	個

イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項のb、c、dとの関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

b 設定された主題に係る問いの内容

c 地域の文化遺産、博物館や資料館の調査・見学などを取り入れるよう工夫している学習の内容

d 発展的な内容の概要

<その他>

- * 我が国の領域をめぐる問題の扱い
- * 国旗・国歌の扱い
- * 北朝鮮による拉致問題の扱い
- * 防災や自然災害の扱い
- * 一次エネルギー及び再生可能エネルギーの扱い
- * 持続可能な社会づくりの扱い
- * オリンピック、パラリンピックの扱い

② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 学習指導要領に定められた「内容の取扱い」において、「ア この科目では、中学校までの学習との連続性に留意して諸事象を取り上げることにより、生徒が興味・関心をもって近現代の歴史を学習できるよう指導を工夫すること。その際、近現代の歴史の変化を大観して理解し、考察、表現できるようにすることに指導の重点を置き、個別の事象のみの理解にとどまることのないよう留意すること。」とあることから、各教科書を比較検討するために上記bの事項を調査する。
- ・ 学習指導要領に定められた「内容の取扱い」において、「エ 年表や地図、その他の資料を積極的に活用し、文化遺産、博物館や公文書館、その他の資料館などを調査・見学したりするなど、具体的に学ぶよう指導を工夫すること。その際、歴史に関わる諸資料を整理・保存することの意味や意義に気付くようにすること。また、科目の内容に関係する専門家や関係諸機関などとの円滑な連携・協働を図り、社会との関わりを意識した指導を工夫すること。」とあることから、各教科書を比較検討するために上記cの事項を調査する。
- ・ 学習指導要領に、内容の範囲や程度等を示す事項は、当該科目を履修する全ての生徒に対し指導するものとする内容の範囲を示したものであり、学校において必要がある場合には、この事項にかかわらず指導することができるため、発展的な内容を取り上げている箇所について調査する。
- * 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- * 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会教育目標の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- * 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都東京の都市機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の防災力の向上が重要なことであるから、防災や自然災害時における関係機関の役割等について考察

させることを通して、これらの問題を正しく理解できるようにする。

- * 学習指導要領に基づき、環境にかかる諸問題を考察させることを通して、これらの問題を正しく理解できるようにするため、一次エネルギー及び再生可能エネルギーの扱いについて調査する。
- * 生徒には、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される。学習指導要領に基づき、正しい理解ができるように、持続可能な社会づくりの扱いについて、調査する。
- * 東京都教育委員会教育目標の基本方針 2・3 に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙 3」）

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫
- ② コラム・資料・トピックスの扱い方
- ③ 視覚的資料(写真、図・イラスト、グラフ、表など)
- ④ 編集上の工夫・その他
- ⑤ ユニバーサルデザインの視点
- ⑥ デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」【(1)内容 ア 調査研究の総括表】(歴史総合)

調査項目			a								b	c	d	(総ページ数)
			大項目(「A 歴史の扉」、「B 近代化と私たち」、「C 国際秩序の変化や大衆化と私たち」、「D グローバル化と私たち」)ごとのページ数								設定された主題に係る問いの数	地域の文化遺産、博物館や資料館の調査・見学などを取り入れるよう工夫している学習の箇所数	発展的な内容を取り上げている箇所数	
			A 歴史の扉		B 近代化と私たち		C 国際秩序の変化や大衆化と私たち		D グローバル化と私たち					
発行者	教科書番号	教科書名	ページ	%	ページ	%	ページ	%	ページ	%	個	個	個	
東書	701	新選歴史総合	13	5.9%	64	28.8%	58	26.1%	56	25.2%	51	3	0	222
東書	702	詳解歴史総合	19	7.7%	68	27.6%	66	26.8%	58	23.6%	52	3	0	246
実教	703	詳述歴史総合	8	3.1%	102	38.9%	70	26.7%	50	19.1%	65	4	0	262
実教	704	歴史総合	6	2.7%	76	34.2%	58	26.1%	46	20.7%	42	5	0	222
清水	705	私たちの歴史総合	4	2.6%	42	26.9%	46	29.5%	40	25.6%	45	1	0	156
帝国	706	明解 歴史総合	10	4.2%	76	31.9%	66	27.7%	46	19.3%	56	8	0	238
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	5	2.0%	82	32.3%	72	28.3%	66	26.0%	48	1	0	254
山川	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	4	1.5%	64	24.4%	82	31.3%	86	32.8%	44	1	0	262
山川	709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	4	2.2%	46	25.3%	52	28.6%	48	26.4%	47	1	0	182
第一	710	高等学校 歴史総合	8	3.4%	84	35.3%	56	23.5%	44	18.5%	53	6	0	238
第一	711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	6	2.8%	74	34.6%	66	30.8%	36	16.8%	49	6	0	214
明成社	712	私たちの歴史総合	8	4.0%	62	30.7%	56	27.7%	50	24.8%	48	7	0	202
平均値			7.9	3.5%	70.0	31.1%	62.3	27.7%	52.2	23.2%	50.0	3.8	0.0	225

・aの割合については、全体のページ数に対する該当のページ数の割合を、小数第2位を四捨五入した値である。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	番号	問いの内容
東書	701	新選歴史総合	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40	<ul style="list-style-type: none"> 1・ 18世紀の東アジアはどのような国際関係をきずいたのだろうか。 2・ 18世紀、アジアの諸地域の間にはどのような関係が形成されていたのだろうか。 3・ 18世紀のヨーロッパとアジアとの交易にはどのような変化がみられたのだろうか。 4・ 産業革命は社会にどのような変化を生み出したのだろうか。 5・ 産業革命を経て世界各地の経済はどのように変化したのだろうか。 6・ 19世紀の東アジアと西欧諸国はどのようなかかわりがあったのだろうか。 7・ イギリスではじまった産業革命はどのように広まったのだろうか。 8・ 市民革命が生み出した社会のしくみはどのようなものであったのだろうか。 9・ 19世紀の欧米では、どのような国家形態が模索されたのだろうか。 10・ 19世紀なかばのアジア諸地域では、それぞれどのような変化が生じていたのだろうか。 11・ 明治維新は日本社会をどのようにかえたのだろうか。 12・ 19世紀に広がった立憲制には、どのような類似点と相違点があったのだろうか。 13・ なぜ、世界各地で植民地獲得競争がくり広げられたのだろうか。 14・ 日清戦争はなぜおきたのだろうか。 15・ 帝国主義国家どうしの関係は、どのようなものだったのだろうか。 16・ 植民地の人々は、どのような支配のもとで暮らしていたのだろうか。 17・ 20世紀はじめ、世界各地の人々は帝国主義政策に対してどのような態度を示していたのだろうか。 18・ 20世紀前半に大衆化が進んだのはなぜだろうか。 19・ 第一次世界大戦において出現した総力戦体制とは、どのようなものだったのだろうか。 20・ 第一次世界大戦後につくられた、戦争の再発を防ぐしくみはどのようなものだったのだろうか。 21・ ロシア革命とソヴィエト連邦の成立は、第一次世界大戦後の世界にどのような影響を与えたのだろうか。 22・ 大量生産と大量消費は、私たちの日常生活をどのようにかえたのだろうか。 23・ 第一次世界大戦後、アジア諸地域の結び付きはどのように深まったのだろうか。 24・ 国際協調の時代に、アジア各地ではどのような動きが生じたのだろうか。 25・ 第一次世界大戦以降の時期に、民主主義はどのようにして広がっていったのだろうか。 26・ マスメディアの発達は大衆と国家をどのように結び付けたのだろうか。 27・ 世界恐慌に対して、各国はどのように対応したのだろうか。 28・ アジア諸国の人々は、動揺しつつあった国際協調体制のなかで、どのように行動したのだろうか。 29・ 第一次世界大戦後の国際協調体制は、ファシズムの伸長のなかでどのように崩壊したのだろうか。 30・ 日中戦争は、世界的な対立とどのようにかかわっていたのだろうか。 31・ 第二次世界大戦はどのようにしてはじまり、拡大したのだろうか。 32・ 第二次世界大戦はどのように終結し、戦後の国際秩序はどのように形成されたのだろうか。 33・ 第二次世界大戦下の総動員はどのようなもので、人々の生活をどのようにかえたのだろうか。 34・ 戦後の国際秩序のもとで、日本の占領政策はどのように変化したのだろうか。 35・ アジアの再編は冷戦下でどのように進んだのだろうか。 36・ 1950年代なかば以降、冷戦の対立はどのように変化したのだろうか。 37・ 核開発競争の脅威に対し、世界の国々や人々はどのように対処したのだろうか。 38・ アジア・アフリカの植民地では、独立後、なぜ地域紛争が頻発したのだろうか。 39・ 自由主義国・社会主義国・開発途上国の経済政策にはどのような共通点があったのだろうか。 40・ 世界に冷戦が広がるなかで、日本の政治や社会、近隣諸国との外交はどのように展開したのだろうか。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	番号	問いの内容
東書	701	新選歴史総合	41	急激な経済成長は私たちの社会にどのような影響を与えたのだろうか。
			42	世界のいくつかの地域で地域連携の動きや考えが広がったのはなぜだろうか。
			43	ベトナム戦争はアジアの国々やアメリカにどのような影響を与えたのだろうか。
			44	先進諸国の人々は、経済成長を背景とした「豊かな社会」とどのように向き合ったのだろうか。
			45	変動相場制への移行と石油危機は、世界経済と人々の生活にどのような影響をおよぼしたのだろうか。
			46	アジアの経済発展はどのようにして進んだのだろうか。
			47	冷戦はどのように終結したのだろうか。
			48	冷戦後の地域紛争に国際社会はどのように対処してきたのだろうか。
			49	冷戦の終結前後の時期に世界各国で民主化が進んだのは、なぜだろうか。
			50	冷戦の終結後、グローバル化と地域統合はどのように進んだのだろうか。
			51	なぜ、グローバル化や地域統合、民主主義は壁にぶつかっているのだろうか。
東書	702	詳解歴史総合	1	18世紀の東アジアは、どのような国際関係をきずき、どのように経済発展をとげたのだろうか。
			2	18世紀、アジアの諸地域にはどのような文明があり、それらの諸地域の間にはどのような経済関係が形成されていたのだろうか。
			3	ヨーロッパを中心に大西洋地域で新たな経済関係が形成されるなか、18世紀のヨーロッパとアジアとの取引にはどのような変化がみられたのだろうか。
			4	イギリスにおいて世界ではじめておきた産業革命はどのような変化を生み出したのだろうか。
			5	産業革命を経て形成された世界経済体制はどのようなものだったのだろうか。そのなかで、アジア諸地域や欧米諸国の経済はどのように変化したのだろうか。
			6	19世紀のアジア・太平洋地域の変容と西洋諸国のこの地域への進出は、どのようなかわりがあったのだろうか。
			7	イギリスではじまった産業革命は、日本や他の国や地域にどのように拡大していったのだろうか。また、技術革新や産業の発展は、世界経済の結びつきをどのように変化させたのだろうか。
			8	市民革命が生み出した社会のしくみはどのようなものだったのだろうか。
			9	19世紀の欧米では、どのような国家形態が模索されたのだろうか。
			10	19世紀のアジア諸地域では、どのような政治的変化が生じていたのだろうか。また、その背景はどのようなものだったのだろうか。
			11	明治維新は日本社会をどのようにかえたのだろうか。また、それはどのような国際環境のなかでおきたのだろうか。
			12	19世紀の後半の立憲制には、どのような類似点と相違点があったのだろうか。
			13	帝国主義とは何だろうか。なぜ一部の国々が、世界で植民地獲得競争をくり広げるようになったのだろうか。
			14	日清戦争はなぜおきたのだろうか。また、日清戦争はどのように東アジアの国際秩序を変化させたのだろうか。
			15	帝国主義国家どうしの関係は、どのようなものだったのだろうか。また、それは日露戦争の発生とどのように関係していたのだろうか。
			16	植民地の人々は、どのような支配のもとで生活していたのだろうか。
			17	20世紀はじめの帝国主義国では、人々は帝国主義政策に対してどのような態度を示していたのだろうか。また、アジア諸国では、世界分割の進行に対してどのような反応がみられたのだろうか。
			18	大衆化によって、人々の生活はどのようにかわったのだろうか。
			19	第一次世界大戦において出現した総力戦体制とは、どのようなものだったのだろうか。
			20	第一次世界大戦後につくられた戦争の再発を防ぐしくみはどのようなものだったのだろうか。
			21	ロシア革命とソヴィエト連邦の成立は、第一次世界大戦後の世界にどのような影響を与えたのだろうか。
			22	大量生産と大量消費は、私たちの日常生活をどのようにかえたのだろうか。
			23	第一次世界大戦後、アジア諸地域の結びつきはどのように深まったのだろうか。
			24	国際協調の時代に、アジアはどのように独立や自立をめざし、日本はどのように行動したのだろうか。
			25	第一次世界大戦後の民主主義をめぐる思想状況は、どのように日本に波及したのだろうか。
			26	大衆化はどのようなテクノロジーに支えられたのだろうか。また、国家は大衆の生活をどのように把握しようとしたのか。
			27	なぜ世界恐慌が発生したのだろうか。それに対して、各国はどのように対応したのだろうか。
			28	アジア諸国の人々は、動揺しつつあった国際協調体制のなかで、どのように行動したのだろうか。
			29	第一次世界大戦後の国際協調体制は、ファシズムの伸長のなかでどのように崩壊したのだろうか。
			30	日中戦争は、世界的な対立とどのようにかかわっていたのだろうか。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	番号	問いの内容
東書	702	詳解歴史総合	31・	第二次世界大戦はどのようにしてはじまり、拡大したのだろうか。
			32・	第二次世界大戦はどのように終結し、戦後の国際秩序はどのように形成されたのだろうか。
			33・	第二次世界大戦下の総動員はどのようなもので、人々の生活をどのようにかえたのだろうか。
			34・	戦後の国際秩序のもとで、日本の改革はどのように行われたのだろうか。
			35・	東アジアでは冷戦がどのように展開され、そのもとで、日本はどのように主権を回復したのだろうか。
			36・	再編されたアジアは、冷戦下の国際秩序に何をもたらしたのであろうか。
			37・	冷戦はどのように世界に拡大し、東西の関係はどう変化したのだろうか。また、植民地から独立を達成した国々は国際社会に何を主張したのだろうか。
			38・	米ソを中心とする軍備拡張や核開発競争は人類にどのような脅威を与えたのだろうか。また、核保有国はなぜ核兵器の管理に同意したのだろうか。
			39・	第二次世界大戦後、アジア・アフリカの植民地は次々に独立したが、独立後、これらの地域でなぜ地域紛争が頻発したのだろうか。
			40・	冷戦下で自由主義国と社会主義国がとった経済政策にはどのような特徴があったのだろうか。また新興国は、経済発展のためにどのような政策を行い、先進国はどのようにかかわったのだろうか。
			41・	冷戦やアジアでの紛争は、日本国内の政治や社会にどのような影響を与えたのだろうか。また、冷戦のもと、日本は近隣諸国とどのような関係を結んだのだろうか。
			42・	日本や欧米諸国が高い経済成長を達成できた背景や要因は何だろう。また、急激な成長は社会にどのような影響を与えたのだろうか。
			43・	西欧諸国やアジア諸国で地域連携の動きが拡大した背景には何があったのだろうか。また、各地域の連携のあり方にはどのような相違があるだろうか。
			44・	ベトナム戦争はアジアの国々やアメリカ合衆国にどのような影響を与えたのだろうか。また米ソ両国の覇権の動揺により、世界はどのように変容したのだろうか。
			45・	先進諸国では、経済成長によって「豊かな社会」になるなかで、どのような価値観の変容が生じたのだろうか。
			46・	変動相場制への移行と石油危機を背景として、どのように経済の自由化が進化したのだろうか。
			47・	アジアの経済発展はどのようにして進化したのだろうか。
			48・	冷戦はいかに終焉し、どのような限界があったのだろうか。
			49・	冷戦後の地域紛争はなぜ数多く顕在化したのだろうか。またそれに世界はどう対処してきたのだろうか。
			50・	冷戦の終結前後の時期に世界各国で民主化が進んだのは、なぜだろうか。
			51・	冷戦の終結後、どのようにグローバル化と地域統合が進んできたのだろうか。
			52・	グローバル化や地域統合、民主主義はどのような意味で岐路に立っているのだろうか。
美教	703	詳述歴史総合	1・	アジアやアメリカ大陸との貿易を通じて、ヨーロッパにはどのような変化が生まれたのだろうか。
			2・	清の支配体制にはどのような特徴があったのだろうか。
			3・	朝貢貿易は、中国の周辺諸国にどのような恩恵をもたらしたのだろうか。
			4・	江戸幕府は、対外貿易をどのように管理したのだろうか。
			5・	平和な時代にはどのような秩序が求められ、どのような発展がみられたのだろうか。
			6・	産業革命はなぜイギリスではじまり、どのように展開したのだろうか。
			7・	アメリカはなぜ、独立をめざしたのだろうか。
			8・	フランス革命の過程で、政治体制はどのように変化していったのだろうか。
			9・	ウィーン体制はどのように誕生し、維持されたのだろうか。
			10・	19世紀後半のイギリスやフランスでは、政治や経済でどのような改革の動きがみられたのだろうか。
			11・	イタリアとドイツの統一は、どのような過程をたどって達成されたのだろうか。
			12・	ロシアの南下政策に対して、ヨーロッパ諸国はどのような対応をとったのだろうか。
			13・	領土拡大の過程で、アメリカ合衆国ではどのような問題が生じたのだろうか。
			14・	産業革命の進展によって、世界にどのような変化が生まれたのだろうか。
			15・	イスラーム世界はヨーロッパ諸国の進出にどう対応したのだろうか。
			16・	ヨーロッパ諸国は南アジア・東南アジアにどのように進出したのだろうか。
			17・	欧米諸国はなぜ中国の開港を求め、中国はどう対応したのだろうか。
			18・	幕府は外国船の接近にどのように対応したのだろうか。
			19・	開国は日本の社会にどのような影響を与えたのだろうか。
			20・	条約締結をめぐる外交方針は、政治にどんな影響を与えたのだろうか。
			21・	明治新政府の改革のねらいは何だったのだろうか。
			22・	新政府は、どのような目的で徴兵制や殖産興業政策、文明開化をおしすすめたのだろうか。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	番号	問いの内容
実教	703	詳述歴史総合	23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の日本のかたちはどのようにつくられたのだろうか。 24 ・ 土族から農民にひろがった自由民権運動は、どのように展開したのだろうか。 25 ・ 大日本帝国憲法によって、どのような国家がめざされたのだろうか。 26 ・ 欧米諸国の帝国主義によって、世界はどのように分割されたのだろうか。 27 ・ 19世紀後半から20世紀はじめにかけて、欧米諸国の社会ではどのような変化がおこったのだろうか。 28 ・ 条約改正をめぐる動きはどのように展開したのだろうか。 29 ・ 日清戦争はどのようにはじまり、どのように展開したのだろうか。 30 ・ 東アジアにおける日露の対立は、何をもたらしたのだろうか。 31 ・ 産業革命によって、日本の経済と社会はどのように変わったのだろうか。 32 ・ 20世紀はじめにアジア各地でおこった運動の共通点やちがいは何だろうか。 33 ・ なぜ、欧米諸国の対立の場がバルカン半島だったのだろうか。 34 ・ ヨーロッパでの戦争はなぜ世界にひろがり、どのように展開したのだろうか。 35 ・ ロシア革命はどのように展開し、他国はどう対応したのだろうか。 36 ・ 第一次世界大戦前後に日本の政治・経済・社会はどのように変化したのだろうか。 37 ・ 第一次世界大戦後に構築された二つの国際体制の目的は何だろうか。 38 ・ なぜ、第一次世界大戦後に民族運動が激化したのだろうか。 39 ・ 民族運動はどのように展開し、日本はどうかかわったのだろうか。 40 ・ 第一次世界大戦が大戦後の欧米諸国にもたらしたものは何だろうか。 41 ・ 人々の意識や社会のかたちはどのように変わっていったのだろうか。 42 ・ 軍縮と協調外交はどのようにして転換していったのだろうか。 43 ・ 世界恐慌は各国の経済にどのような影響を与え、人々の生活をどのように変えたのだろうか。 44 ・ ヒトラーがひきいるナチ党は何を主張し、どのようにしてドイツの政権をにぎったのだろうか。 45 ・ 軍部の台頭で社会はどう変わったのだろうか。 46 ・ なぜ、日中全面戦争に至ったのだろうか。 47 ・ ヨーロッパの戦争とアジアにおける日本と中国の戦争は、どのようにしてむすびついたのだろうか。 48 ・ 枢軸国の支配や日本のアジア支配にはどのような特徴がみられ、またそこにはどのような抵抗運動がみられたのだろうか。 49 ・ 戦争はいつどのようにして「終結」したのだろうか。 50 ・ 第二次世界大戦後、人々はどのような世界をつくりあげようとしていたのだろうか。 51 ・ 連合国の日本占領には、どのようなねらいがあったのだろうか。 52 ・ 民主化政策によって、日本の社会はどのように変わったのだろうか。 53 ・ 冷戦は、どのようにしてはじまり、深刻化していったのだろうか。 54 ・ アジアにおける冷戦は、日本の独立と安全保障にどのように影響したのだろうか。 55 ・ 1950年代から60年代はじめにかけて、冷戦はどのように展開したのだろうか。 56 ・ 独立後の旧植民地諸国は、国際社会においてどのような動きをとったのだろうか。 57 ・ ベトナム戦争を経て、米ソの外交姿勢はどのように変化したのだろうか。 58 ・ 高度経済成長の時代に、日本と欧米・アジア諸国との関係はどのように変化したのだろうか。 59 ・ 石油危機以降の世界はどのように変化したのだろうか。 60 ・ 米ソの対立はどのような経緯で終結に向かっていったのだろうか。 61 ・ 1960年代以降のヨーロッパとアジアの経済・社会はどのように変化したのだろうか。 62 ・ 世界経済の変化と諸外国の要求に、日本はどう対応したのだろうか。 63 ・ 冷戦の終結は、世界をどのように変えたのだろうか。 64 ・ グローバル化がすすむなかで政治や経済にはどのような変化がおこったのだろうか。 65 ・ 世界は今、どのような課題に直面しているのだろうか。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	番号	問いの内容
実教	704	歴史総合	1	<ul style="list-style-type: none"> 17世紀を通じて東アジアではどのような体制ができあがったのだろうか。 2 商品作物の生産と流通は、国内外にどのような影響を与えたのだろうか。 3 欧米諸国の接近に対して日本と清はどのような対応をしたのだろうか。 4 イギリス産業革命やアメリカ独立戦争は、どのようにはじまり、展開したのだろうか。 5 フランス革命とウィーン体制のもとで、政治体制はどのように変化していったのだろうか。 6 領土拡大の過程で、アメリカ合衆国ではどのような問題が生じたのだろうか。 7 東方問題を通じて、ロシアやオスマン帝国にはどのような変化が生じたのだろうか。 8 アヘン戦争で東アジア諸国はどのような対応をせまられたのだろうか。 9 将軍や各藩はどのような政治体制をつくろうとしたのだろうか。 10 19世紀後半のイギリス・フランス・イタリア・ドイツでは、どのような政治上の動きがみられたのだろうか。 11 明治政府は、どのような国づくりをすすめたのだろうか。 12 日本はどのように国境を画定したのだろうか。 13 自由民権運動がめざしたのは、どのような国家だったのか。 14 欧米諸国は、なぜ帝国主義の政策をすすめたのだろうか。 15 日清戦争は、何を目的にはじまったのだろうか。 16 日本と中国や朝鮮との関係は、どのようにかわっていったのだろうか。 17 日露戦争の影響にはどのようなことがあるだろうか。 18 産業革命によって日本の経済と社会は、どのようにかわったのだろうか。 19 第一次世界大戦は、なぜ世界をまきこむ戦争となったのだろうか。 20 ソヴィエト政権はなぜ人々から支持されたのだろうか(革命が成功した背景にあったものは何か)。 21 米騒動のなかで人々は何を求めたのだろうか。 22 大戦後の国際秩序はどのような目的で構築されたのだろうか。 23 第一次世界大戦後、アジア各地で民族運動が活発になったのはなぜだろうか。 24 第一次世界大戦後の欧米諸国にはどのような動きがみられたのだろうか。 25 社会運動をになった人々は、何を求めたのだろうか。 26 世界恐慌は各国の経済や人々の生活にどのような影響を与えたのだろうか。 27 ヒトラーがひきいるナチ党は何を主張し、どのようにして政権をにぎったのだろうか。 28 日本はどのようにして国際的孤立の道をすすんでいったのだろうか。 29 中国との戦争は、なぜ長期化したのだろうか。 30 ヨーロッパでの戦いと、アジアの日中の戦争はどのようにしてむすびついたのだろうか。 31 戦争は、いつどのようにして「終結」したのだろうか。 32 国際連合は設立の目的を十分にはたせてきたのだろうか。 33 民主化政策によって、日本が戦前からかわったことは何だろうか。 34 連合国の対日占領方針は、朝鮮戦争によってどのようにかわったのだろうか。 35 旧植民地は、どのように独立をはたしたのだろうか。 36 強大な軍事力をほこった米ソが、影響力を弱めたのはなぜだろうか。 37 冷戦は日本の政治と外交にどのような影響を与えたのだろうか。 38 石油危機以後の世界はどのような変化をみせたのだろうか。 39 米ソの動きは冷戦の集結にどのようにかかわったのだろうか。 40 バブル経済はなぜ崩壊したのだろうか。 41 冷戦後の地域紛争の原因は何か。 42 グローバル化がすすむなかで、各国はどのような動きをみせたのだろうか。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	番号	問いの内容
清水	705	私たちの歴史総合	1	<p>1・「鎖国」は19世紀の初年に、志筑忠雄がケンペルの著書「THE HISTORY OF JAPAN」(『日本誌』)を翻訳するときにつくった、「国を鎖す」の意味をもつ造語である。近世の日本は、本当に「鎖国」していたのだろうか？</p> <p>2・資料1に描かれた運河に密集する運搬船や、300以上の看板が出された出店群からは、当時の中国(清)の経済的な繁栄の様子が読み取れる。18世紀の清の経済的な繁栄は、どのようなものだったのだろうか？</p> <p>3・18世紀のイギリスでは、中国産の茶やインド産綿織物など「アジアの豊かな産物」が人気を集めた。一方で、大西洋三角貿易により、イギリスは多大な利益を手にした。イギリスがおこなったグローバルな貿易は、各地にどのような変化をもたらしたのだろうか？</p> <p>4・古代より数千年間、産業の中心は農業などの第一次産業であった。資料1からは、18世紀以降めぐるしく変化する世界経済の様子が読み取れる。こうした変化の出発点となった産業革命は、社会や経済をどのように変えたのだろうか？</p> <p>5・19世紀になると、産業革命の影響を受けて、イギリスを中核とした世界各地での貿易が活発化し、世界の経済的な結びつきが強まった。産業革命は、アジア諸国と欧米諸国の関係をどのように変えたのだろうか？</p> <p>6・イギリスの新聞「タイムズ」は、アメリカの日本遠征の記事をたびたび掲載し、『イラストレイテッド・ロンドンニュース』は日本に向けて出港したペリー艦隊の動向を報じている。なぜ、世界は日本の開国に注目していたのだろうか？</p> <p>7・18世紀末にアメリカやフランスで起きた革命では、それまでとは異なる社会のあり方が求められた。革命により広まった新たな思想や社会の仕組みは、現代の世界にも大きな影響を与えている。革命に参加した人々は、どのような社会をめざしたのだろうか？</p> <p>8・19世紀の欧米諸国では、立憲制にもとづく国民国家が誕生した。しかし、各国においてさまざまな政治動向があらわれるなかで、国民国家のあり方を模索するさまざまな動きが見られた。それぞれの国家がどのような課題に直面し、どのように解決しようとしたのだろうか？</p> <p>9・アメリカでの岩倉使節団歓迎セレモニーの席上、伊藤博文は、明治維新は短期間になされ、日の丸は「文明諸国に肩を並べ、前方かつ上方に動こうとしている」と演説した。明治維新はどのような国家の形成をめざして進められ、そこにはどのような特徴があるのだろうか？</p> <p>10・ウィーン大学の法学者シュタインは、明治政府の指導者たちが立憲制度を学びに次々とヨーロッパを訪れたことについて、「われわれの中のいかなる要素が彼らを駆り立てるのか」と記した。明治政府の指導者たちは、なぜ憲法を制定したのだろうか？</p> <p>11・19世紀末から20世紀初めは、帝国主義の全盛期といわれる。この間、列強は、世界人口のほぼ3分の1が住む広大な土地を植民地として支配することになった。帝国主義の出現は、世界をどのように変えたのだろうか？</p> <p>12・欧米列強による帝国主義支配が世界を覆い、アジアやアフリカ諸地域は、列強の圧迫を受けるようになった。アジア、アフリカの人々は、どのような状況におかれ、帝国主義に対してどのように抵抗しようとしたのだろうか？</p> <p>13・日清戦争は、近代をむかえた日本がその後、日露戦争、第一次世界大戦、日中戦争、アジア太平洋戦争へと進んでいく最初の本格的な対外戦争だった。日清戦争の勝利は、日本社会や周辺地域にどのような影響をおよぼしたのだろうか？</p> <p>14・日清戦争に勝利した日本は、朝鮮に対する支配を強めて大陸侵略の足場を築こうとした。それは、極東で南下をめざすロシアとの対立を深めることにつながった。日露戦争が世界に与えた影響とは、どのようなものだったのだろうか？</p> <p>15・バルカン半島で起こった一つの事件は、長期間にわたって世界全体を覆う大規模な戦争につながった。そして科学の進歩は大量殺戮を可能とした。未曾有の数の死者を出した世界大戦は、どのような背景で勃発し、どのような特徴をもち、世界をどのように変えたのだろうか？</p> <p>16・戦争の長期化に疲弊したロシア民衆たちは、食料を求めて行動を起こした。労働者、農民、兵士らが中心となっておし進めた革命がめざしたものは、世界にどのように受け止められ、革命の考えはどのような広がりを見せたのだろうか？</p> <p>17・20世紀初頭まで、戦争は国家間の対立を解消するための有効な選択肢の一つであった。しかし、民衆の暮らしをまき込んで大きな犠牲をもたらした第一次世界大戦は、その考え方を大きく転換させた。戦争にたよらずに国家間の対立を解消する試みはどのようにして生まれたのだろうか？</p> <p>18・ウィルソンの十四か条で示された民族自決の原則は、第一次世界大戦後の世界各地の民族運動に大きな刺激を与えたが、必ずしも「独立」や「解放」は実現しなかった。アジア各地の民族運動は、どのような方法で自立をめざしたのだろうか？</p> <p>19・第一次世界大戦前後の世界を見渡すと、人々が積極的に政治に参加する事象が多く見られる。当時の政治や経済、文化などの情勢をふまえ、大衆の政治参加は社会のどのような条件のもとで起こったのか、考えてみよう。</p> <p>20・18世紀のアメリカ独立宣言やフランス人権宣言で唱えられた自由や平等の権利は、女性や奴隷などには適用されなかった。時代とともに進んだ女性への社会参加への道は、決して平坦なものではなかった。女性たちは、どのように社会へ進出していったのだろうか？</p> <p>21・スポーツや映画鑑賞、旅行などのレジャーが大衆社会の成立と並行して発展した。大衆社会とは、いったいどのような特徴をもった社会なのだろうか？現代の社会と共通する点や異なる点などをあげながら、注意すべき点なども多角的に考察してみよう。</p> <p>22・「黄金の20年代」とよばれた繁栄のなか、1929年10月にアメリカのニューヨーク、ウォール街で株価の大暴落が起こった。これをきっかけに始まった大恐慌は、世界にどのような影響をおよぼしたのだろうか？</p> <p>23 経済的苦境にあえぐ国民にとって、理想を語り、そしてそれを実現していくファシズム政党の主張は魅力的に思えた。大衆は、どのようにしてファシズムの原動力になっていったのだろうか。</p> <p>24・満州事変を機に、日本は国際社会の中で孤立していく。1920年代の国際協調の風潮に逆行するかたちで起きた満州事変や国際連盟脱退、それに続く日中戦争が大衆の支持を集め、引き返せなくなったのはなぜだろうか？</p> <p>25・第一次世界大戦後、世界は国際協調体制にあったにもかかわらず、再び戦争への道を歩んでしまった。戦争は人の心をどのように変えてしまうのだろうか？</p>

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	番号	問いの内容
清水	705	私たちの歴史総合	26	<p>・ 中国との戦争が長期化するなか、日本は米英と開戦し、戦場はアジア、太平洋地域に拡大した。その一方、東南アジア諸国の人々は戦争の前から独立をめざしてきた。この戦争は、戦場となったアジアに何を残したのだろうか？</p> <p>27 ・ ラジオや新聞、雑誌の普及により、大衆の行動はメディアがつくり出す時代の「空気」に左右されるようになる。価値観や情報は都市から地方まで一律に届けられ、大量生産される商品は大衆に共有された。このような画一化は、大衆の役割をどう変化させてきたのだろうか？</p> <p>28 ・ 第二次世界大戦の末期から、米ソの主導権争いが表面化していた。そして第二次世界大戦の終焉は新たな紛争の種をつくった。戦後の世界秩序はどのように変わったのだろうか？</p> <p>29 ・ 戦争に敗れた日本は、6年に及ぶ主権のない時代を過ごす。冷戦の状況下で、GHQの方針にも影響されながら天皇制と軍国主義を改め、新たな国のかたちを模索した。大きな転換を経験するなかで、大衆の意識はどう変わり、何が変わらなかったのだろうか？</p> <p>30 ・ アメリカ合衆国とソ連との対立は戦後の東アジア情勢にも影響をおよぼし、中国として中華人民共和国と台湾の中華民国政府が、朝鮮半島に大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の二つの国家が生まれた。第二次世界大戦後の東アジアの秩序は、どのように変わったのだろうか？</p> <p>31 ・ 1945年に採択された国際連合憲章では、人々の同権や自決権がうたわれた。しかし、旧植民地諸国の独立やその後の歩みは容易ではなかった。アジア、アフリカ諸国の独立はどのように達成され、世界に何をもたらしたのだろうか？</p> <p>32 ・ 冷戦が続くなか、ベトナム戦争や中東戦争などの地域紛争が世界各地で起こった。これらの紛争は、それぞれどのような背景のもとに起こり、その後の歴史にどのような影響を与えたのだろうか？</p> <p>33 ・ 1968年を中心に、世界では若者や女性、黒人などによる社会運動がさかんにおこなわれるようになった。世界の歴史のなかで、1968年はどのような意義をもっているのだろうか？</p> <p>34 ・ 冷戦下、世界で唯一核兵器を使用したことがあるアメリカのほかにも、ソ連なども核兵器を保有することとなった。世界に核兵器が拡散するなかで、核兵器の脅威は世界をどのように動かしたのだろうか？</p> <p>35 ・ 第二次世界大戦後の世界では、国家や地域の安定と発展を模索してさまざまな連携の動きが見られた。それらはどのようなものだったのだろうか？</p> <p>36 ・ 1951年に調印されたサンフランシスコ平和条約は、アジア諸国との間にさまざまな課題を積み残す内容であった。独立後の日本とアジア諸国の関係はどのように回復し、再編されたのだろうか？</p> <p>37 ・ 第二次世界大戦後の復興期をへて、1950年代以降、経済を飛躍的に成長させる国々があらわれた。経済成長は私たちの社会に何をもたらしたのだろうか？</p> <p>38 ・ 1970年代の2度の石油危機は、エネルギーの需給のみならず多くの問題を浮き上がらせた。石油危機はなぜ起こり、そして世界にどのような影響をもたらしたのだろうか？</p> <p>39 ・ 石油危機が先進資本主義国に打撃を与え、ソ連などの社会主義諸国の経済が停滞を見せるなか、一部のアジア諸国などは大きな成長をとげた。「アジアの奇跡」はなぜ起きたのだろうか？</p> <p>40 ・ 1980年代に入ると社会主義陣営では行きづまりがみられるようになった。その状況を打開するための改革により、米ソ関係が急速に改善され、ついに冷戦の集結が宣言された。冷戦の終結はそれまでの国際関係にどのような変化をもたらしたのだろうか？</p> <p>41 ・ 冷戦の終結前後、各地で民主化運動が激化し、軍事政権や独裁政権が崩壊して民主化が進んだ。民主化の進展は世界に平和をもたらしたのだろうか？また、冷戦の終結は日本の政治に何をもたらしたのだろうか？</p> <p>42 ・ 冷戦が終結すると、豊かさを求める人々の経済活動は地球規模に拡大した。さらなる経済の自由化は、私たちに幸せをもたらしているだろうか？</p> <p>43 ・ 冷戦終結後、各地域で経済統合が進められた。その一方で、近年地域統合に反対する動きも見られるようになった。地域統合はどのような課題に直面しているのだろうか？</p> <p>44 ・ 友人と会う約束をするとき、目的地への行き方を調べるとき、流行を知りたいとき、多くの人に伝えたいことがあるとき、もしもスマホがなかったら…。情報通信技術の発達は私たちのくらしや社会にどんな影響を与えてきたのだろうか？</p> <p>45 ・ 冷戦の終結は、一部の地域に平和や安定をもたらす一方で、新たな紛争を引き起こすことにもなった。どのような紛争がなぜ起きたのだろうか？紛争が絶えない世界で、私たちに何ができるのだろうか？</p>

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	番号	問いの内容
帝国	706	明解 歴史総合	1	<ul style="list-style-type: none"> 1・江戸時代の日本と世界は、どのように結び付いていたのだろうか。 2・江戸時代後期の日本は、どのような社会だったのだろうか。 3・18世紀の清は、アジアやヨーロッパとどのように結び付いていたのだろうか。 4・17～18世紀のアジアやアメリカでは、どのような貿易が展開されていたのだろうか。 5・イギリスの革命とアメリカの独立戦争によって、どのような政治体制が生まれたのだろうか。 6・フランス革命によって、政治と社会はどのように変化したのだろうか。 7・フランス革命は、当時のヨーロッパやアメリカ大陸の政治にどのような影響を与えたのだろうか。 8・産業革命は、近代社会の形成にどのような役割を果たしたのだろうか。 9・欧米による世界市場の形成は、世界をどのように変えていったのだろうか。 10・1848年を境に、ヨーロッパではどのような社会に変化していったのだろうか。 11・イタリア・ドイツ・ロシアではどのように近代国家形成を展開したのだろうか。 12・アメリカは、どのようにして国内統一と工業化を達成したのだろうか。 13・第2次産業革命後、世界規模でどのような変化があったのだろうか。 14・イスラーム諸国は、ヨーロッパ諸国の進出により、どのような影響を受けたのだろうか。 15・どのようにして、アジアの各地にヨーロッパの植民地が形成されていったのだろうか。 16・清は、ヨーロッパ諸国の進出に対してどのように対応したのだろうか。 17・日本は、ヨーロッパ諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。 18・日本では、近代化を受け入れるにあたり、どのような対立があったのだろうか。 19・明治維新により、日本はどのような国家に変化したのだろうか。 20・日本は、近代国家となるために、どのような政策を進めていったのだろうか。 21・近代化の進展により、日本・清・朝鮮の国際関係は、どのように変化したのだろうか。 22・日清戦争の後、日本や清では、どのような変化があったのだろうか。 23・日露戦争の結果は、世界の各国にどのような影響を与えたのだろうか。 24・ドイツとロシアの対外政策の変更は、どのような対立を生んだのだろうか。 25・世界の国々とその国民は、どのようにして第一次世界大戦に関わっていったのだろうか。 26・どのようにして、ロシアで社会主義政権が誕生していったのだろうか。 27・第一次世界大戦後、どのような国際秩序が形成されたのだろうか。 28・第一次世界大戦後、東アジアではどのような変化が起こったのだろうか。 29・第一次世界大戦は、中東諸国やインドにどのような影響を与えたのだろうか。 30・第一次世界大戦後、人々はどのようなことを望んだのだろうか。 31・第2次産業革命以降、欧米などで形成された大衆社会とは、どのようなものだろうか。 32・日本では、どのようにして大衆社会が形成されていったのだろうか。 33・世界恐慌は、国際協調体制にどのような影響を与えたのだろうか。 34・ファシスト党やナチ党は、どのようにして人々をひき付けていったのだろうか。 35・なぜ日本は、満州への進出を進めていったのだろうか。 36・なぜ、日本は日中戦争へと突き進んでいったのだろうか。 37・第二次世界大戦は、どのようにして世界規模の戦争になっていったのだろうか。 38・第二次世界大戦は、どのように進展したのだろうか。 39・第二次世界大戦は、どのように終結し、どのような問題を残したのだろうか。 40・第二次世界大戦後、どの国々を中心にして、どのような国際体制が作られたのだろうか。 41・アメリカとソ連の対立は、ヨーロッパにおいてどのような形で表れたのだろうか。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	番号	問いの内容
帝国	706	明解 歴史総合	42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本軍が撤退したあとのアジア諸国は、どのように主権を獲得していったのだろうか。 ・ 占領下の日本では、どのような国が目指され、どのように独立を回復したのだろうか。 ・ アメリカとソ連の緊張と緩和は、国際社会にどのような影響を与えたのだろうか。 ・ 日本は、どのような国内外の状況の中で高度経済成長を遂げたのだろうか。 ・ 冷戦が激しくなるなか、アジア・アフリカの脱植民地化はどのように展開したのだろうか。 ・ なぜ、中東の問題が、世界中に影響を与えたのだろうか。 ・ 1960～70年代のアメリカが抱えた問題は、国際社会にどのような影響を与えたのだろうか。 ・ 1960～70年代の日本が抱えた国内外の問題は、どのようなものか。 ・ 東アジア・東南アジアの国々が経済成長に成功したのは、なぜだろうか。 ・ イラン＝イスラーム革命は、世界にどのような影響を与えたのだろうか。 ・ 冷戦体制が終結したことで、世界構造はどのように変化したのだろうか。 ・ 冷戦の終結は、アジアの国々にどのような影響を与えたのだろうか。 ・ アメリカが中東情勢に関与し続けるのは、なぜだろうか。 ・ 国際環境の変化によって、日本の政治や社会は、どのように変わったのだろうか。 ・ グローバル化のさらなる進展により、国際社会はどのように変わってきたのだろうか。
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	<ul style="list-style-type: none"> 1・ アジア諸地域では広大な領域をもつ帝国が繁栄していたが、やがて衰退に向かった。日本は江戸幕府のもと、独自の体制を築いていた。アジアの諸帝国が繁栄できた理由は何だったのだろうか。また、アジア諸国とヨーロッパ諸国の関係はどのようなものだったのだろうか。 2・ 16世紀以降、ヨーロッパ諸国は世界の一体化を進めていく。当時のヨーロッパ諸国内では、どのような変化がおこっていたのだろうか。また、ヨーロッパ以外の地域とは、どのような関係ができていったのだろうか。 3・ 産業革命は、資金を集めて機械を導入しつつ、労働者を雇用して大量生産をおこなう企業の登場によって生じる社会的な変化である。それはイギリスから始まり、やがてヨーロッパ諸国が続いた。これらの国では、どのような変化が生じたのだろうか。 4・ アメリカ独立革命とフランス革命は、近代民主政治の基本原則を世界に示した。2つの革命には、どのような類似点と相違点があったのだろうか。 5・ ヨーロッパ列強は政治的安定を求めてウィーン体制を構築したが、ナショナリズムや自由主義的改革をおさえることは困難だった。どのような考えがどのような人々によって主張されたのだろうか。 6・ 19世紀後半、ヨーロッパの国際関係は列強の協調体制から、各国がみずからの利害を最優先する体制へと変化した。国力を高めるため、各国は国民国家の形成を急ぐが、その過程は各国でどのように違ったのだろうか。 7・ 18世紀には独立したばかりの新興国だったアメリカ合衆国が、20世紀には世界最大の国力をもったのは、なぜだろうか。 8・ 19世紀に入ると、ヨーロッパ諸国の西アジアおよび南アジア・東南アジアへの進出は本格的なものとなり、多くの地域で植民地化が進んだ。こうしたヨーロッパ諸国の進出に対し、各地の人々はどのように対応したのだろうか。 9・ 19世紀に入ると外国貿易を制限していた東アジアの諸国に対して、欧米諸国が軍事力を用いて自由貿易を求める動きが活発になった。このような動きはなぜ生じたのだろうか。また、中国と日本はそれぞれどのように対応したのだろうか。 10・ 新政府は、政治・経済・社会・文化など様々な面で急進的な改革を進めた。新政府は、どのような国家のあり方をめざして改革を進めたのだろうか。そのなかで「国民」はどのようなかたちで生み出されたのだろうか。 11・ 日本は幕末に欧米諸国と条約にもとづく関係を結んだが、東アジアには依然として清を中心とする国際秩序があった。新政府は諸外国とどのような関係を築こうとし、それは国内の改革とどのように関わったのだろうか。 12・ 日本が憲法と議会による政治を実現したのは、当時、欧米以外の国では画期的なことであった。「国民」の政治参加を求める動きはどのように展開し、政府は立憲体制の成立に向けてどのような準備を進めたのだろうか。 13・ 日本が条約改正を進めつつ朝鮮に進出をはかると、清を中心とする東アジアの国際関係に変化が生じ、やがて日清戦争が勃発した。日清戦争は日本・清・朝鮮の3国にどのような変化をもたらしたのだろうか。 14・ 明治時代に入り、日本では欧米の技術が本格的に導入され、資本主義の仕組みも広まっていった。日本の産業革命は、どのような特色をもち、国内や貿易にどのような影響をおよぼしたのだろうか。教育やその普及の意味とあわせて考えてみよう。 15・ 19世紀末、欧米列強は新たな植民地の獲得に向けて、激しく競いはじめた。帝国主義と呼ばれるこうした政策は、どのような理由によって進められたのだろうか。また、この時期の各国の内政は、どのように展開したのだろうか。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	番号	問いの内容
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	16	<p>16 ・ 帝国主義の時代に列強は競って植民地を求め、アフリカをはじめとする世界の大半の地域を支配下におさめていった。そうした植民地化は、どのように進み、どのような抵抗にあったのだろうか。また、列強相互の関係は、どのように変化したのだろうか。</p> <p>17 ・ 日露戦争では、日本がろうじてロシアに勝利した。なぜ日露戦争はおこったのだろうか。また、日本の勝利は日本国内や周辺地域にどのような影響をもたらしたのだろうか。</p> <p>18 ・ 第一次世界大戦は、なぜおこり、各国の社会や国際秩序にどのような変化をもたらしたのだろうか。また、この戦争が、史上初の総力戦と呼ばれるのはなぜだろうか。</p> <p>19 ・ 第一次世界大戦後、ヨーロッパでもアジア・太平洋地域でも、新しい国際秩序の枠組みが定められた。それはどのような内容をもっていたのだろうか。また、大戦後、ヨーロッパ各国の内政には、どのような変化がおこったのだろうか。</p> <p>20 ・ 第一次世界大戦の戦場はおもにヨーロッパであったが、その影響はアジアやアフリカにもおよんだ。アジア・アフリカの諸地域では、第一次世界大戦後、どのような変化がみられたのだろうか。</p> <p>21 ・ 1920年代のアメリカには、大衆消費社会がいち早く到来した。大衆消費社会は、どのようにして始まったのだろうか。また、それは日本ではどのように展開したのだろうか。</p> <p>22 ・ 大正時代には、政治や社会の民主的な「改造」をめざす「大正デモクラシー」の動きが盛んとなった。それはなぜだろうか。そして、その動きは日本の政治や社会にどのような影響をもたらしたのだろうか。</p> <p>23 ・ 1929年に世界恐慌が発生すると、各国は長期にわたって深刻な不況におちいった。資本主義諸国を襲った巨大な危機に、各国はどのようにして対応したのだろうか。また、世界恐慌は国際秩序にどのような変化をもたらしたのだろうか。</p> <p>24 ・ 世界恐慌によって各国に社会不安が広まるなかで、ドイツを中心にしてファシズムが台頭した。ファシズムはどのようにして台頭したのだろうか。また、ヨーロッパ各国はファシズムにどのように対応したのだろうか。</p> <p>25 ・ 日本は2つの恐慌に襲われ、陸軍軍人が満州事変をおこし、五・一五事件によって政党内閣が断絶した。こうした激動はなぜもたらされ、日本、そして国際社会にどのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>26 ・ 1937年の盧溝橋事件を機に日中戦争が勃発した。この戦争は、なぜ長期化したのだろうか。そして、日中両国の人々や国際社会に、どのような影響をもたらしたのだろうか。</p> <p>27 ・ 第二次世界大戦では、ヨーロッパと並んでアジア・太平洋地域も主戦場となった。この大戦は、どのような展開をたどったのだろうか。また、それは戦後の世界にどのような影響を残したのだろうか。</p> <p>28 ・ 2つの世界大戦を経て、国際社会は平和と安定を今度こそ確かなものとするために、新しい秩序づくりへのぞんだ。しかし、現実には冷戦という新たな対立がおこった。冷戦はどのようにして始まったのだろうか。</p> <p>29 ・ 第二次世界大戦後、アジアの諸地域はつぎつぎと独立したが、民族の分断や局地的な戦争で、社会の安定はなかなかもたらされなかった。困難を引きおこした国際的背景と国内的状況は、どのようなものだったのだろうか。</p> <p>30 ・ 第二次世界大戦後、占領軍は、ポツダム宣言をふまえ、様々な面で日本の民主化を進めていった。この民主化はどのような変化を日本にもたらしたのだろうか。また、戦後処理はどのようにおこなわれたのだろうか。</p> <p>31 ・ 東西冷戦が進行するなかで、1940年代末、占領軍は日本の占領政策を転換した。日本はそれにどのように対処したのだろうか。これらのことは、1952年の日本の独立回復にどのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>32 ・ 第二次世界大戦後、アメリカとソ連は、それぞれ集団防衛体制の構築に力を注ぎ、核兵器開発でも激しく競いあった。それらは、どのように展開したのだろうか。また、国際社会にはどのような影響をおよぼしたのだろうか。</p> <p>33 ・ 1950年代半ば頃から米ソ両国では、それぞれの国内に変化の動きがみられ、同時に冷戦の枠組み内での関係改善の模索も始まった。米ソの平和共存に向けた動きは、どのように展開したのだろうか。</p> <p>34 ・ 戦後の西ヨーロッパの経済復興は、アメリカの主導と支援のもとで始まったが、やがて地域統合とアメリカからの自立をめざす動きもみられるようになった。西ヨーロッパの復興と統合は、どのように進んだのだろうか。</p> <p>35 ・ 冷戦の時代、アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国は東西どちらの陣営にも属さない「第三世界」を形成しようとした。アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国は、東西両陣営の対立にどのように対応したのだろうか。</p> <p>36 ・ 55年体制が成立した日本では、1993年まで政権交代がおこらず、自由民主党による長期保守政権が続いた。こうした政治体制のもとで、日本の政治・外交はどのような展開をとげてきたのだろうか。</p> <p>37 ・ 日本は、1955年から70年代初頭まで年平均約10%もの経済成長率を記録し、欧米諸国をはるかに上まわる経済成長を実現した。日本の高度経済成長はどのような背景のもとで成しとげられたのだろうか。また、それによって人々の生活や社会はどのようにかわったのだろうか。</p> <p>38 ・ 核戦争勃発の恐怖をもたらしたキューバ危機が回避されると、緊張緩和と軍縮の気運が高まった。キューバ危機とはどのような事件だったのだろうか。また、その後の緊張緩和と軍縮はどのように進んだのだろうか。</p> <p>39 ・ 1960年代になると、東側陣営では、内部の対立や亀裂が深まった。西側陣営では、アメリカによるベトナム戦争への介入に対して批判が高まった。冷戦構造はどのように変化したのだろうか。また、米ソ両国はこの変化にどのように対応したのだろうか。</p>

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	番号	問いの内容
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	40	・ 1970年代を境にして、世界経済は大きく変わった。アメリカの経済力はもはや圧倒的ではなくなり、石油危機をきっかけにして、経済成長を最優先する価値観も見直されるようになった。これらの変化はどのように生じ、経済や社会はどのように変わったのだろうか。
			41	・ 1970年代以降、東アジア・東南アジアでは急速に工業化が進んだ。その背景には、どのような国内的な要因、国際的な要因があったのだろうか。また、1980年代、日本は欧米先進諸国に比べて相対的に高い経済成長率を維持していた。その理由は何だろうか。
			42	・ ソ連の社会主義は、1980年代までに停滞した。事態を打開するため、新指導者ゴルバチョフは、東西対立を終わらせることを決意した。その結果、国際情勢はどのように変化したのだろうか。また、この頃におこった湾岸戦争に、国際社会はどのように対応したのだろうか。
			43	・ ゴルバチョフが始めた改革は、ソ連の崩壊へと行き着いた。その後、ユーゴスラヴィアも激しい内戦の末に解体した。なぜソ連は崩壊し、ユーゴスラヴィアは解体したのだろうか。また、冷戦後の世界で、経済のグローバル化はどのように進展したのだろうか。
			44	・ 1990年前後には、ラテンアメリカやアジアなど世界各地で民主化運動が高まり、軍事政権や独裁政権が崩壊した。なぜ、世界各地でこのような現象が発生したのだろうか。
			45	・ 冷戦が終わり、グローバル化によって「世界の一体化」が進む現代、一方では各地で紛争が続発し、人々のあいだの対立が深まっている。各地の紛争・対立にはどのような背景があるのだろうか。
			46	・ 東西冷戦が終わると、グローバル化が進み、経済的相互依存・環境保全・安全保障など、様々な面で新たな動きが生じた。めまぐるしく変化する国際社会のなかで、日本は世界の国々とのような関係を築いているだろうか。
			47	・ 現代世界は、グローバル化、地域紛争やテロ、難民に対する排外主義、人権、自然環境、情報化などの諸問題に直面している。複雑にからみ合う諸問題に、私たちはどのように立ち向かっていけばよいだろうか。
			48	・ 現代の日本には、人口減少やエネルギーの問題、自然災害への対応や近隣の国々との関係など、様々な課題がある。こうした課題にどのように対応していけばよいのだろうか。国内での対応や諸外国との関係などから多面的・多角的に考えてみよう。
山川	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	1	・ 18世紀の中国と日本では、商品生産と流通網はどのように発達したのだろうか？
			2	・ 18世紀の世界と日本は、どのように結びついていたのだろうか？
			3	・ 18世紀から始まる技術革新の波は、世界をどのように変えたのだろうか？
			4	・ 清の開港と日本の開国によって、東アジアはどのように変わったのだろうか？
			5	・ 市民革命は社会をいかに変えたのだろうか？
			6	・ 国民国家とは何だろうか？
			7	・ 日本はどのようにして国民が政治に参加する国になったのだろうか？
			8	・ 日本の産業革命が、イギリスの産業革命に比べてきわめて短期間で達成されたのはなぜだろうか？
			9	・ 帝国主義の出現は、世界をどのように変えたのだろうか？
			10	・ 日清戦争はどのようにしておこり、その後の東アジアにどのような影響を与えたのだろうか？
			11	・ 列強の対立が激しくなるなか、東アジアはどのように変わったのだろうか？
			12	・ 第一次世界大戦は、その後の世界にどのような影響を与えたのだろうか？
			13	・ 第一次世界大戦後の世界において、ソ連とアメリカはどのような影響力をもったのだろうか？
			14	・ 第一次世界大戦後、新たにどのような国際体制が築かれたのだろうか？
			15	・ 第一次世界大戦は、世界経済の構造をどのように変え、日本経済にどのような影響を与えたのだろうか？
			16	・ 第一次世界大戦後、アジアのナショナリズムはなぜ高まったのだろうか？
			17	・ 権利を求める声はだれが発し、どのように社会へ広がったのだろうか？
			18	・ 1920年代には、どのような文化や生活習慣が広がったのだろうか？
			19	・ 世界恐慌はなぜ波及し、それに各国はどのように対応したのだろうか？
			20	・ なぜファシズムは勢力を伸長し、ヴェルサイユ体制が崩壊したのだろうか？
			21	・ 日本はどのようにして中国との戦争に向かったのだろうか？
			22	・ 第二次世界大戦はどのようにして多くの国々を巻き込み、長期化したのだろうか？
			23	・ 第二次世界大戦は人々にとってどのような経験だったのだろうか？
			24	・ 新たな国際体制はどのように形成されたのだろうか？
			25	・ 占領は日本をどのように変えたのだろうか？
			26	・ 世界の分断はどのように表面化し、進んだのだろうか？

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	番号	問いの内容
山川	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	27	日本はどのようにして国際社会に復帰したのだろうか？
			28	冷戦下で、アジアやアフリカ諸国はそれぞれどのような動きをみせたのだろうか？
			29	東西両陣営の社会は、どのように変わったのだろうか？
			30	核兵器の開発とその抑制は、どのように試みられてきたのだろうか？
			31	ヨーロッパの統合と東南アジアやアフリカなどの統合の特徴は何だろうか？
			32	社会主義とその計画経済が20世紀後半の世界に与えた影響は何だろうか？
			33	高度経済成長をもたらしたものとその影響は何だろうか？
			34	戦後処理を通じて、日本とアジアの国々はどのような関係を結んだのだろうか？
			35	石油危機は世界や日本の社会・経済にどのような影響を与えたのだろうか？
			36	20世紀後半のアジアの経済発展を可能にしたものは何だろうか？
			37	経済のグローバル化は世界と日本にどのような影響を与えたのだろうか？
			38	1990年代後半に本格化した情報技術革命は、世界をどのように変えたのだろうか？
			39	冷戦の終結はどのような背景のもとで進み、どのような影響を与えたのだろうか？
			40	今日の東アジアの国々には、どのような課題があるのだろうか？
			41	各国の民主化にはどのような成果と課題があるのだろうか？
			42	地域統合は、人々や社会にどのような影響をおよぼすのだろうか？
			43	冷戦の終結は、協調と平和をもたらしたのだろうか？
			44	私たちは歴史から何を学び、課題の解決に挑むべきだろうか？
山川	709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	1	18世紀のアジアは、経済や文化が発達していた。こうした状況は、ヨーロッパにどのような影響を与えたのだろうか？
			2	産業革命によって、機械を用いた大量生産が可能となった。このことは、社会や生活をどのようにかえたのだろうか？
			3	清がアヘン戦争に敗れ、欧米諸国の東アジア進出が進んだ。このことは、日本にどのような影響を与えたのだろうか？
			4	19世紀後半に開国し、貿易を開始した日本。欧米諸国と条約を結んだが、それはどのような内容だったのだろうか？
			5	日本が開国した頃、世界各地で戦争や反乱がおきていた。このことは、日本にどのような影響を与えたのだろうか？
			6	開国し、貿易を開始した日本。このことは、当時の日本社会や人々にどのような影響を与えたのだろうか？
			7	市民革命を通じて、「自由」「平等」という考えが広がった。このことは、世界にどのような影響を与えたのだろうか？
			8	王政復古の号令で新政府を樹立した日本。新政府は、どのように新国家を建設しようとしたのだろうか？
			9	欧米諸国と対等な関係を築くことをめざした日本。欧米諸国に追いつくために、どのようなことに取り組んだのだろうか？
			10	近代国家として出発した日本。明治時代の初期に、政府は諸外国と、どのような関係を築いていったのだろうか？
			11	憲法にもとづいた議会を開議した日本。その議会はどのような過程を経て成立したのだろうか？
			12	1880年代以降、対外戦争を経つつ、産業革命を進展させていった日本。どのように産業を発展させたのだろうか？
			13	帝国主義の時代、列強は様々な地域を植民地とした。この過程で欧米諸国の関係は、どのように変化したのだろうか？
			14	日露戦争での日本の勝利は、世界を驚かせた。この勝利は、アジアにどのような影響を与えたのだろうか？
			15	日露戦争後、東アジアに勢力範囲を拡大した日本。その後、日本の政治や外交は、どのように変化していったのだろうか？
			16	1つの事件が、大規模かつ長期間におよぶ「大戦」になった。その経緯は、どのようなものだったのだろうか？
			17	ヨーロッパで始まった第一次世界大戦。日本には、どのような影響があったのだろうか？
			18	ロシア革命によって、世界初の社会主義政権が誕生した。このことは、世界にどのような影響を与えたのだろうか？
			19	第一次世界大戦には、多くの人々が動員された。このことはその後の国際社会に、どのような影響を与えたのだろうか？
			20	第一次世界大戦後、新たな国際秩序が形成された。この国際秩序には、どのような問題があったのだろうか？
			21	第一次世界大戦後、アジアの人々は独立や自治を求めた。その結果、どのような成果が得られたのだろうか？
			22	第一次世界大戦後、大量生産・大量消費社会が到来した。この時代には、どのようなものや文化が広がったのだろうか？
			23	1929年、アメリカで恐慌がおこった。その結果、各国では、どのようなことがおこったのだろうか？
			24	ドイツではナチ党が政権をとり、ヴェルサイユ体制を破壊していった。なぜナチ党は人々の支持を集めたのだろうか？

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	番号	問いの内容
山川	709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本では、しだいに軍部が政治の主導権を握るようになった。軍部はどこで、どのような行動をおこしたのだろうか？ ・ 2度目の世界大戦が始まった。この戦争は、第一次世界大戦と比べると、どのような特徴をもっていたのだろうか？ ・ 日本も戦争に突入していった。戦時下の人々には、どのようなことが求められたのだろうか？ ・ 第二次世界大戦は、世界に深刻な被害をもたらした。その被害の大きさは、どのようなものだったのだろうか？ ・ 第二次世界大戦は、かつてない犠牲を生んだ。戦争を繰り返さないよう、人々はどのような体制をつくったのだろうか？ ・ 第二次世界大戦後は、資本主義国と社会主義国が対立する時代となった。なぜ、この対立が生じたのだろうか？ ・ GHQのもとで様々な改革が進められた。戦後の日本はどのような国にかかわることを求められたのだろうか？ ・ サンフランシスコ平和条約に調印し、独立を回復した日本。独立後には、どのような課題が残されたのだろうか？ ・ 第二次世界大戦後の世界では、アジア・アフリカ諸国が連帯する動きがみられた。その理由は何だろうか？ ・ 冷戦の前半戦ともいえる1940年代から1950年代。アメリカとソ連は、どのような動きをみせたのだろうか？ ・ 人類が核戦争に、もっとも近づいたといわれるキューバ危機。なぜ、このようなことがおこったのだろうか？ ・ 1950年代の日本では、保守勢力と革新勢力とが対立していた。両者はどのような点で対立したのだろうか？ ・ 1950年代後半から1960年代、日本経済は急速に成長した。この時期、日本ではどのようなことがおこったのだろうか？ ・ 冷戦最大の武力衝突といわれるベトナム戦争。この戦争は世界に、どのような影響を与えたのだろうか？ ・ 1970年代、資本主義世界の経済は様々な変化を経験した。それは、どのような変化だったのだろうか？ ・ 経済大国となった日本。このことは、日本と諸外国との関係にどのような影響をもたらしたのだろうか？ ・ 1970年代から1990年代に、急速な経済発展を実現した国や地域があった。その理由は何だろうか？ ・ 社会主義国であるソ連は停滞する一方、資本主義諸国でも福祉国家への疑問が生まれた。その理由は何だろうか？ ・ 冷戦は、1980年代末から1990年代にかけて終結した。どのようなことが、冷戦の終結につながったのだろうか？ ・ 冷戦が終結すると、内戦や地域紛争がめだつようになった。その理由は何だろうか？ ・ 冷戦の終わり頃から。急速に台頭してきたEUとASEAN。これらは、どのような変化をたどってきたのだろうか？ ・ 現在の世界には、どのような課題があるのだろうか？ ・ 現在の日本には、どのような課題があるのだろうか？
第一	710	高等学校 歴史総合	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	<ul style="list-style-type: none"> ・ 18世紀の東アジアではどのような国際秩序が形成されたのだろうか。 ・ 18世紀のアジア各国の社会や経済に共通することは何だろうか。 ・ ヨーロッパ諸国の商業活動拡大とともに、どのような国々が覇権をにぎったのだろうか。 ・ なぜ産業革命は、イギリスで最初におこったのだろうか。 ・ アメリカ合衆国は、どのようにして建国されたのだろうか。 ・ フランスの旧体制はどのように打倒されたのだろうか。 ・ ナポレオンの登場は、革命の伝播にどのような影響をあたえたのだろうか。 ・ フランス革命は、大西洋を囲む地域にどのような影響をあたえたのだろうか。 ・ 19世紀の世界経済の緊密なつながりには、どのような特徴があったのだろうか。 ・ 後進国では、どのように国民国家の形成が進んだのだろうか。 ・ ロシアは、どのようにして近代化をはかろうとしたのだろうか。 ・ アメリカ合衆国では、どのようにして国民国家が形成されたのだろうか。 ・ 西アジアのイスラーム世界はヨーロッパ諸国の進出にどのように対応したのだろうか。 ・ ヨーロッパ諸国による植民地化は、南アジアや東南アジアにどのような影響をあたえたのだろうか。 ・ 欧米諸国が、清や日本に開港(開国)を求めたねらいは、何だったのだろうか。 ・ 開港後の情勢の変化に、中国と日本はどのように対応したのだろうか。 ・ 日本の外交政策によって、東アジアの国際秩序はどのように変化したのだろうか。 ・ 日本は、どのような道で立憲国家へと歩んでいったのだろうか。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	番号	問いの内容
第一	710	高等学校 歴史総合	19	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ欧米諸国は、帝国主義政策に乗り出したのだろうか。 20 ・ 欧米列強の世界政策は、非ヨーロッパ社会にどのような影響をおよぼしたのだろうか。 21 ・ 日清戦争は東アジアにどのような影響をおよぼしたのだろうか。 22 ・ 日露戦争はどのようにしておこり、どのような影響をあたえたのだろうか。 23 ・ 日本の工業化はどのようにして可能となったのだろうか。 24 ・ 日本の帝国主義政策は東アジアでどのように展開したのだろうか。 25 ・ 第一次世界大戦はなぜおこり、どのような状況で4年間もつづいたのだろうか。 26 ・ ロシア革命は世界にどのような影響をあたえたのだろうか。 27 ・ 大戦後、戦勝国はどのような国際秩序をつくらうとしたのだろうか。 28 ・ 第一次世界大戦後、アジアではどのような動きが生じたのだろうか？ 29 ・ 第一次世界大戦後、東アジアの民族運動はどのように展開したのだろうか。 30 ・ 第一次世界大戦後の経済的繁栄により、アメリカ社会はどのように変化したのだろうか。 31 ・ 第一次世界大戦前後に、日本の政治、経済、社会はどのように変化したのだろうか。 32 ・ 世界恐慌に対して各国はどのように対応したのだろうか。 33 ・ イタリア・ドイツのファシズムや日本の軍部は、どのようにして台頭したのだろうか。 34 ・ 日本やドイツ、イタリアはどのようにして対外侵略をすすめたのだろうか。 35 ・ 日中戦争はどのようにしてはじまったのだろうか。 36 ・ 2度目の世界大戦はどのようにしてはじまったのだろうか。 37 ・ 第二次世界大戦は、どのように展開し、どのように終わったのだろうか。 38 ・ 第二次世界大戦後の国際秩序は、どの国が主導し、どのようにして形成されたのだろうか。 39 ・ 冷戦はどのようにはじまり、どのように広がっていったのだろうか。 40 ・ 連合国による占領政策はどのようにすすめられたのだろうか。 41 ・ 冷戦は日本の国際社会への復帰にどのような影響をもたらしたのだろうか。 42 ・ 第二次世界大戦後、アジア諸国はどのようにして独立を達成したのだろうか。 43 ・ 独立後のアジア・アフリカ諸国はどのような問題に直面したのだろうか。 44 ・ 1950～60年代にかけて、冷戦下の米ソの関係は、どのように変化したのだろうか。 45 ・ 西ヨーロッパと日本の戦後には、どのような違いがあったのだろうか。 46 ・ 高度経済成長は日本社会にどのような影響をおよぼしたのだろうか。 47 ・ アメリカと中国の動揺はそれぞれどのような影響をもたらしたのだろうか。 48 ・ 石油危機は、世界の政治や経済にどのような影響をおよぼしたのだろうか。 49 ・ 東南アジア・東アジアは、それ以前と比べてどのように変化したのだろうか。 50 ・ 冷戦の終結は世界にどのような影響をもたらしたのだろうか。 51 ・ 冷戦終結以降、国際情勢はどのように変化したのだろうか。 52 ・ グローバル化がもたらしたさまざまな影響を考えてみよう。 53 ・ 技術の発達は世界にどのような影響をおよぼしているのだろうか。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	番号	問いの内容
第一	711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41	<ul style="list-style-type: none"> 1・ 18世紀の東アジアでは、どのような国際秩序が形成されたのだろうか。 2・ 18世紀の東アジア各国の社会や経済に共通することは何だろうか。 3・ 国際商業の展開はヨーロッパの人々の生活や考え方をどのように変えたのだろうか。 4・ なぜ世界で最初の産業革命はイギリスでおこったのだろうか。 5・ アメリカ合衆国は、どのように建国されたのだろうか。 6・ フランスの旧体制はどのように打倒されたのだろうか。 7・ フランス革命は、各地にどのような影響をあたえたのだろうか。 8・ イギリスは19世紀の世界においてどのような影響力をもったのだろうか。 9・ 後発国では、どのように国民国家の形成がすすんだのだろうか。 10・ アメリカ合衆国は、どのようにして国民国家を形成したのだろうか。 11・ 西アジアのイスラーム世界は、ヨーロッパ諸国の進出にどのように対応したのだろうか。 12・ ヨーロッパ諸国の進出は、南アジア・東南アジアの諸国にどのような影響をあたえたのだろうか。 13・ 欧米諸国は、何を求めて東アジアにやってきたのだろうか。 14・ 開港後の政治や社会の変化に、清と日本はどのように対応したのだろうか。 15・ 日本はどのような外交を展開したのだろうか。 16・ 政府や民衆は憲法に何を期待したのだろうか。 17・ ヨーロッパ列強諸国は、なぜ帝国主義政策を採用したのだろうか。 18・ 日本と清は、何をあらそったのだろうか。 19・ 日露戦争はどのようにおこったのだろうか。 20・ 日本のアジア進出は、韓国・中国にどのような影響をおよぼしたのだろうか。 21・ 日本の産業革命はいつ、どのようにしてすすんだのだろうか。 22・ なぜ義務教育制度は導入されたのだろうか。 23・ 第一次世界大戦はそれ以前の戦争とどのように異なるだろうか。 24・ ロシア革命は世界にどのような影響をあたえたのだろうか。 25・ 大戦後、戦勝国はどのような国際秩序をつくらうとしたのだろうか。 26・ 第一次世界大戦後、アジアではどのような動きが生じたのだろうか。 27・ 第一次世界大戦後、東アジアではどのような運動が展開されたのだろうか。 28・ 空前の繁栄のもとで、アメリカの社会はどのように変化したのだろうか。 29・ 大正デモクラシーの風潮のなか、日本の政治・社会にどのような変化がおきたのだろうか。 30・ 世界恐慌に対して各国はどのように対応したのだろうか。 31・ ファシズムや日本の軍部は、どのようにして台頭したのだろうか。 32・ 中国は、どのように抗日の態勢をととのえていったのだろうか。 33・ ドイツ・イタリア・日本は、どのように対外侵略をすすめていったのだろうか。 34・ どのようにして再び世界大戦がはじまったのだろうか。 35・ どのような経過を経て第二次世界大戦は終わったのだろうか。 36・ 第二次世界大戦後、どのような国際秩序が形成されたのだろうか。 37・ 敗戦後、日本はどのように変わったのだろうか。 38・ 冷戦は、第二次世界大戦後の東アジアにどのような影響をあたえたのだろうか。 39・ 講和後、国際社会に復帰した日本はどのような課題に直面したのだろうか。 40・ アジア諸国の独立はどのようにして成しとげられたのだろうか。 41・ 冷戦構造はどのように変化したのだろうか。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	番号	問いの内容
第一	711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	42 43 44 45 46 47 48 49	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急速な経済成長は何をもたらしたのだろうか。 ・ ベトナム戦争は国際社会にどのような影響をあたえたのだろうか。 ・ ドル＝ショックと石油危機は、世界にどのような影響をあたえたのだろうか。 ・ 石油危機を経た後、アジア諸国はどのような時代をむかえたのだろうか。 ・ 冷戦はどのように終結に向かっていったのだろうか。 ・ 冷戦の終結は国際社会に安定をもたらしたのだろうか。 ・ グローバル化とはどういうものなのだろうか。 ・ 私たちの生きている時代はどのような社会なのだろうか。
明成社	712	私たちの歴史総合	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	<ul style="list-style-type: none"> ・ 18世紀の日本では、どのように手工業製品が生産され、取引されていたのだろうか。 ・ 18世紀の中国では、どのように手工業製品が生産され、取引されていたのだろうか。 ・ アジア各地域は貿易によって、どのように結びついていったのだろうか。 ・ ヨーロッパ列強は、何を求めてアジア諸国と貿易をおこなっていたのだろうか。 ・ 工業化は世界にどのような変化をもたらしたのだろうか。 ・ 蒸気機関・鉄道・通信手段の革新は、欧米諸国の経済活動をどのように変えていったのだろうか。 ・ イギリスはどのようにして中国(清)を開港させたのだろうか。 ・ 鎖国から開国への転換で、わが国は国づくりをどう進めたのだろうか。 ・ 西欧諸国の政治体制の変容は、その後の国際社会のあり方をどのように変えたのだろうか。 ・ ナポレオン戦争によって広まったフランスの新しい国家制度は、ヨーロッパ全体にどのような影響をおよぼしたのだろうか。 ・ 明治新政府の指導者たちは、どのような構想で新しい国家づくりに挑んだのだろうか。 ・ 明治政府は西欧列強に負けない国づくりをどのように進めたのだろうか。 ・ 当時の人々はわが国の実情や伝統にあわせた憲法をどのようにつくったのだろうか。 ・ 欧米列強が植民地獲得競争を展開した動機はなんだっただろうか。 ・ ドイツの参入は、世界分割競争の構図をどのように変えていったのだろうか。 ・ わが国はなぜ大清に戦争を挑まなければならなかったのだろうか。 ・ 日露戦争はどのようにおこったのだろうか。 ・ バルカン半島ではじまった戦いに、なぜ多数の国が参戦し、世界大戦に発展したのだろうか。 ・ 第一次世界大戦は、日本やアジアの経済構造をどのように変えたのだろうか。 ・ どのようにしてアメリカとソビエトは国際社会に強い影響力を持つ国になったのだろうか。 ・ 民族自決の原則は、戦後アジアでどのように展開したのだろうか。 ・ なぜ1920年代に大衆の政治参加や女性の地位向上が進んだのだろうか。 ・ 日本における政党政治は、どのように実現したのだろうか。 ・ 大量生産・大量消費の経済活動は、人々の暮らしにどのような変化を与えたのだろうか。 ・ 教育やマスメディアの発達は大衆社会の形成にどのような役割をはたしたのだろうか。 ・ 世界恐慌に各国はどのように立ちむかったのだろうか。 ・ ファシズム勢力はどのように政権を掌握していったのだろうか。 ・ 辛亥革命以後の中国大陸の動向にわが国はどのように対応したのだろうか。 ・ ヨーロッパの戦争とアジアの戦争が一体化したのはなぜだろうか。 ・ 二度の世界大戦の反省は、新しい世界秩序の構築にどのように反映されたのだろうか。 ・ 冷戦構造はどのようにして形成されたのだろうか。 ・ 連合国はドイツと日本の占領の改革をどのように進めたのか。 ・ わが国はどのように国際社会に復帰したのだろうか。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 b 設定された主題に係る問いの内容】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	番号	問いの内容
明成社	712	私たちの歴史総合	34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧米の植民地だったアジア・アフリカ諸国は独立をどのように実現していったのだろうか。 ・ 冷戦下、ベトナム戦争や中東戦争には、国際対立がどのように影響していただろうか。 ・ アメリカの公民権運動や反戦運動は、先進諸国の政治をどのように変えたのだろうか。 ・ 米ソの核による安全保障政策は、キューバ危機でどのように軌道修正されたのだろうか。 ・ 西ヨーロッパ諸国や東南アジア諸国が地域統合にむかったのはなぜだろうか。 ・ 社会主義圏における経済政策の特徴はどのようなものだろうか。 ・ わが国はどのような国内外の条件を生かして、高度成長をはたしたのだろうか。 ・ ドル＝ショックと石油危機で世界経済にはどのような転換がおきたのだろうか。 ・ 世界経済はどのようにして転換期を迎えたのだろうか。 ・ 冷戦後、世界市場の統合はどのように進んだのだろうか。 ・ IT革命は私たちの社会をどのように変えつつあるのだろうか。 ・ 冷戦の終結はどのような経過をたどって実現したのだろうか。その結果、世界はどう変わったのだろうか。 ・ 冷戦終結の前と後で世界はどのように変化したのだろうか。 ・ グローバル化を促進した地域統合は、世界各地域でどのように進展していったのだろうか。 ・ 冷戦が終結したのに世界各地で新たな地域紛争が頻発しているのは、どのような理由があるからだろうか。

「別紙2-2」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 地域の文化遺産、博物館や資料館の調査・見学などを取り入れるよう工夫している学習の内容】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	記述の概要
東書	701	新選歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・P12 本文「資料の種類」の中で、石碑なども含まれていることを紹介 ・P196 本文「資料・情報の収集」の中で、図書館・博物館・資料館などの活用を紹介 ・P197 本文「資料・情報の収集」の中で、近代化遺産や史跡・遺跡などの見学を紹介
東書	702	詳解歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・P12 本文「資料の種類」の中で、石碑なども含まれていることを紹介 ・P218 本文「資料・情報の収集」の中で、図書館・博物館・資料館などの活用を紹介 ・P219 本文「資料・情報の収集」の中で、近代化遺産や史跡・遺跡などの見学を紹介
実教	703	詳述歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・P15 本文「統計などから読む」の中で、統計資料、遺物や遺跡、口述記録などの資料を通して歴史を調べることができることを紹介 ・P172 本文「歴史を資料から考える」の中で、博物館で出来事について学ぶというやり方を紹介 ・P172 本文「歴史を資料から考える」の中で、記念碑を紹介 ・P173 本文「歴史を資料から考える」の中で、ヨーロッパでおこなわれている記憶のあり方として、「躓きの石」を紹介
実教	704	歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・P15 本文「ヒゲとおしゃれ(統計資料を読む)」の中で、遺物や遺跡などの資料を通して歴史を調べることができることを紹介 ・P190 本文「調査活動の注意点」の中で、公立の図書館や博物館といった情報提供機関の利用、遺物・遺跡の見学、関係する場所の探訪などを紹介 ・P191 本文「さまざまな調査活動」の中で、図書館・博物館・資料館の利用を紹介 ・P191 本文「さまざまな調査活動」の中で、さまざまな場所を探訪することを紹介 ・P193 本文「不戦条約や平和に関わる調査活動の例」の中で、博物館や遺跡での調査活動を紹介
清水	705	私たちの歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・P7 本文「先生のひと言メモ」の中で、碑文など様々なものが歴史を知るための手がかりになることを紹介
帝国	706	明解 歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・P1 本文「歴史と私たち」の中で、身近な地域にみられるものに焦点を当てることを紹介 ・P4 本文「歴史と私たち」の中で、地域には文化財や歴史的遺産だけではなく、後の人が建てた記念碑などの史跡が数多くあることを紹介 ・P5 本文「歴史の特質と資料」の中で、博物館や美術館の意義を紹介 ・P5 本文「歴史の特質と資料」の中で、遺跡・遺構・碑文などの地域に残る資料を紹介 ・P85 本文「情報の集め方」の中で、実際に現地に行き調べたり、博物館や美術館を利用したりすることを紹介 ・P85 本文「情報の集め方」の中で、図書館を紹介 ・P85 本文「情報の集め方」の中で、野外調査(フィールドワーク)を紹介 ・P85 本文「情報の集め方」の中で、博物館や美術館、文書館を紹介
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	<ul style="list-style-type: none"> ・P235 本文「現代的な諸課題の形成と展望」の中で、図書館や博物館・資料館などの展示の利用を紹介
山川	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	<ul style="list-style-type: none"> ・P10 本文「歴史の特質と資料」の中で、国立公文書館を紹介
山川	709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	<ul style="list-style-type: none"> ・P16 本文「歴史と資料」の中で、歴史資料の例として、石碑、遺跡から発見されたものを紹介

「別紙2-2」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 地域の文化遺産、博物館や資料館の調査・見学などを取り入れるよう工夫している学習の内容】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	記述の概要
第一	710	高等学校 歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・P28 本文 「探究ハンドブック①～調べ方～」の中で、地域の図書館の利用や、外に出て、取材をしながら歴史を体験することを紹介 ・P28 本文 「探究ハンドブック①～調べ方～」の中で、図書館の利用を紹介 ・P28 本文 「探究ハンドブック①～調べ方～」の中で、博物館や郷土資料館などの歴史展示施設の活用を紹介 ・P29 本文 「探究ハンドブック①～調べ方～」の中で、野外調査(フィールドワーク)を紹介 ・P155 本文 「戦争の記憶・『負の遺産』」の中で、記念碑や慰霊碑を紹介 ・P215 本文 「現代的な諸課題の形成と展望 実践編」の中で、図書館での調査を紹介
第一	711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	<ul style="list-style-type: none"> ・P22 本文 「探究ハンドブック(調べ方)」の中で、地域の図書館の利用や、外に出て、取材をしながら歴史を体験することを紹介 ・P22 本文 「探究ハンドブック(調べ方)」の中で、図書館の活用を紹介 ・P22 本文 「探究ハンドブック(調べ方)」の中で、博物館の活用を紹介 ・P23 本文 「探究ハンドブック(調べ方)」の中で、野外調査(フィールドワーク)を紹介 ・P115 本文 「新しい知識人と新文化運動」の中で、図書館での調査を紹介 ・P108 本文 「探究活動に取り組んでみよう(実践編)」の中で、図書館での調査を紹介
明成社	712	私たちの歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・P12 本文 「近代化への問い」の中で、図書館・資料館の利用を紹介 ・P74 本文 「国際秩序の変化や大衆化への問い」の中で、図書館・資料館の利用を紹介 ・P130 本文 「グローバル化への問い」の中で、図書館・資料館の利用を紹介 ・P175 本文 「現代的な諸課題の形成と展望」の中で、図書館の利用を紹介 ・P175 本文 「現代的な諸課題の形成と展望」の中で、博物館の利用を紹介 ・P175 本文 「現代的な諸課題の形成と展望」の中で、住まいの近くにある史跡の探訪を紹介 ・P179 本文 「歴史に関わる資料の整理・保存」の中で、地域の施設を調べて訪問することを促し、国の機関等を紹介

「別紙2-3」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 d 発展的な内容の概要】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	扱いの 有無	取り上げられている項目	記述の概要
東書	701	新選歴史総合	無		
東書	702	詳解歴史総合	無		
実教	703	詳述歴史総合	無		
実教	704	歴史総合	無		
清水	705	私たちの歴史総合	無		
帝国	706	明解 歴史総合	無		
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	無		
山川	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	無		
山川	709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	無		
第一	710	高等学校 歴史総合	無		
第一	711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	無		
明成社	712	私たちの歴史総合	無		

「別紙2-4」 【我が国の領域をめぐる問題の扱い】（歴史総合）

発行者	教科書番号	教科書名	北方領土に関する記述の概要	竹島に関する記述の概要	その他
東書	701	新選歴史総合	<p>P59 地図『日本の国境の画定』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・択捉島と示され、1854年の国境を表示 ・幕末の日露和親条約では、樺太(サハリン)の帰属は未決、千島列島では択捉島と得撫島の間を両国の国境とし、これによって択捉島以南(現在の北方領土)は日本の領土であることが日露両国で合意された。さらに、1875年の樺太・千島交換条約によって、樺太をロシア領、千島列島全体を日本領とすることが決定された。 <p>P161 注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ソ間の平和条約は締結されず、日本が、国後島、択捉島、歯舞群島、色丹島は固有の領土であると主張する北方領土問題の解決は、平和条約の締結後にもちこされた。 	<p>P59 地図『日本の国境の画定』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹島と示されている。 <p>P71 注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹島は、閣議決定にもとづき、1905年1月に島根県に編入された。 <p>P161 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は韓国を朝鮮半島の唯一の合法的政府として承認し、日本が経済協力を行うかわりに韓国が植民地支配にかかわる請求権を放棄したが、韓国併合の合法性や竹島をめぐる問題などについては解決を見なかった。 	<p>P59 地図『日本の国境の画定』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尖閣諸島と示されている。
東書	702	詳解歴史総合	<p>P67 地図『日本の国境の画定』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・択捉島と示され、1854年の国境を表示 ・幕末の日露和親条約では、樺太(サハリン)の帰属は未決、千島列島では択捉島と得撫島の間を両国の国境とし、これによって択捉島以南(現在の北方領土)は日本の領土であることが日露両国で合意された。さらに、1875年の樺太・千島交換条約によって、樺太をロシア領、千島列島全体を日本領とすることが決定された。 <p>P147 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンフランシスコ講和会議には、中華民国も中華人民共和国もまねかれず、インドやソ連なども不参加あるいは条約に署名しなかったため、これらの諸国との平和条約の締結やソ連との北方領土をめぐる問題はその後懸案事項となった。 <p>P147 注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本が、国後島、択捉島、歯舞群島、色丹島は固有の領土であると主張する北方領土をめぐる問題の解決は、平和条約の締結後にもちこされた。 	<p>P67 地図『日本の国境の画定』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹島と示されている。 <p>P79 注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹島は、閣議決定にもとづき、1905年1月に島根県に編入された。 <p>P181 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は韓国を朝鮮半島の唯一の合法的政府として承認し、日本が経済協力を行うかわりに韓国が植民地支配にかかわる請求権を放棄したが、韓国併合の合法性や竹島をめぐる問題などについては解決しなかった。 	<p>P67 地図『日本の国境の画定』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尖閣諸島と示されている。

「別紙2-4」 【我が国の領域をめぐる問題の扱い】（歴史総合）

発行者	教科書番号	教科書名	北方領土に関する記述の概要	竹島に関する記述の概要	その他
実教	703	詳述歴史総合	<p>P87 地図 『明治初期の国境画定』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1855年の国境と樺太・千島交換条約(1875)の国境を表示 <p>P87 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の場合、北方では、ロシア勢力の南下を受けて、1869年に蝦夷地を北海道とあらため、開発・行政・警備を担う開拓使を設置した。また1875年の樺太・千島交換条約によって、樺太をロシア領、千島列島を日本領として国境を画定し、樺太在住のアイヌを北海道へ移住させた。 <p>P87 注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日露間にむすばれたこの条約で、1855年に日本領と決まった歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島（現在の北方領土）に加えて、千島列島が日本に帰属することとなった。 <p>P206 注釈 日ソ共同宣言の調印</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このとき、北方領土の帰属問題が解決しなかったため、平和条約の締結は目送られた。 	<p>P87 地図 『明治初期の国境画定』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹島と示され、1905編入と表示されている。 ・日本海の竹島は、1905年に日本領とする閣議決定がなされた。 	<p>P87 地図 『明治初期の国境画定』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尖閣諸島と示され、1895編入と表示されている。 ・東シナ海の尖閣諸島は、1895年1月、日本の領土（沖縄県）への編入が閣議決定された。
実教	704	歴史総合	<p>P67 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北方では幕末以来、ロシアとの国境があいまいで、1855年の日露和親条約では、樺太（サハリン）を両国の雑居地と認めていた、政府は1869年に蝦夷地を北海道と改め、開拓使を設置して開発にのりだした。また、1875年の樺太・千島交換条約によって、樺太をロシア領、千島列島を日本領とした。 <p>P67 注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日露間にむすばれたこの条約で、1855年に日本領と決まった歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島（現在の北方領土）に加えて、千島列島が日本に帰属することとなった。 <p>P67 地図 『明治初期の国境画定』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1855年の国境と樺太・千島交換条約(1875)の国境を表示 <p>P164 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1956年、鳩山一郎首相はモスクワで日ソ共同宣言に署名して、ソ連と国交を回復した、しかし、領土問題が解決しなかったため、平和条約の締結は目送られた。 	<p>P67 地図 『明治初期の国境画定』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹島と示され、1905編入と表示されている。 ・日本海の竹島は、1905年に日本領とする閣議決定がなされた。 	<p>P67 地図 『明治初期の国境画定』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尖閣諸島と示され、1895編入と表示されている。 ・東シナ海の尖閣諸島は、1895年1月、日本の領土（沖縄県）への編入が閣議決定された。

「別紙2-4」 【我が国の領域をめぐる問題の扱い】（歴史総合）

発行者	教科書番号	教科書名	北方領土に関する記述の概要	竹島に関する記述の概要	その他
清水	705	私たちの歴史総合	<p>P19 地図 『明治日本の領域』 ・日露和親条約(1855年)による国境と樺太・千島交換条約(1875年)による国境を表示</p> <p>P19 本文 ・ペリー来航に少し遅れて、ロシアのプチャーチンが長崎に来航し、翌1855年に日露和親条約が締結されました。この条約によりロシアとの国境を画定した幕府は、同年、北方防備の強化と実質支配の確立のため、蝦夷地を再度直轄化しました。 ・北海道の実質支配が深まるとともに、1875年、樺太・千島交換条約によって北方の国境が画定し、ここに近代的領土主権が確立されることとなりました。</p> <p>P33 本文 ・近代国家の確立をめざす日本は、領土や国境の画定をおし進め、北方では、1875年にロシアとの間で樺太・千島交換条約を結んで千島列島を領土とした。</p> <p>P33 注釈 ・1855年日露和親条約では択捉島と得撫島の間に国境が設けられた。このとき日本領と定められた択捉島以南の島々を北方領土という。</p> <p>P83 注釈 ・ソ連は満州、南樺太、千島列島に侵入し、この地域を占領した。とくに千島への侵入は日本の降伏後で、国後島、択捉島、色丹島、歯舞群島(北方四島)の占領は、現在の北方領土問題の原因となった。</p> <p>P89 本文 ・一方で、中国やソ連との平和条約は結ばれず、ソ連による北方四島の占領は続き、中国に対する戦争責任問題も先送りとなった。</p> <p>P111 本文 ・吉田茂内閣にかわって誕生した「自主外交」をかかげた鳩山一郎内閣は、ソ連との関係回復を模索し、1956年に日ソ共同宣言を調印した。これにより、領土問題の解決を平和条約の締結まで先送りするかたちで、日ソの国交が正常化した。</p>	<p>P19 地図 『明治日本の領域』 ・竹島と示されている。</p> <p>P33 注釈 ・1895年には尖閣諸島、1905年には竹島を、それぞれ閣議決定により日本領として編入した。</p> <p>P111 本文 ・日本とアジア諸国の間では賠償、領土問題や歴史認識について現在でも意見の対立が生じることがある。</p>	<p>P19 地図 『明治日本の領域』 ・尖閣諸島と示されている。</p> <p>P33 注釈 ・1895年には尖閣諸島、1905年には竹島を、それぞれ閣議決定により日本領として編入した。</p>

「別紙2-4」 【我が国の領域をめぐる問題の扱い】（歴史総合）

発行者	教科書番号	教科書名	北方領土に関する記述の概要	竹島に関する記述の概要	その他
帝国	706	明解 歴史総合	<p>P74 本文 ・北方ではロシアと、幕府が結んだ日露通好(和親)条約による択捉島・得撫島間の国境画定に続き、樺太・千島交換条約を結び、日本は樺太を放棄し千島列島を得た。 P74 地図『明治初期の日本の国境と外交』 ・1855年に画定した国境を表示 ・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島が日本に画定(現在の北方領土)</p> <p>P150 地図『サンフランシスコ平和条約で定まった日本の領域』 ・サンフランシスコ平和条約による日本の領土を表示し、択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島は枠で囲われ、北方領土と示されている。</p> <p>P161 本文 ・1956(昭和31)年に日ソ共同宣言に調印して国交を樹立し、北方領土問題は未解決のまま両国の戦争状態は終了した。</p> <p>P192 地図『日本のと排他的経済水域』 ・択捉島と示されている。 P192 コラム ・北方領土は、現在までロシアが不法占拠を続けており、そのため日中間では平和条約が締結されないままとなっている。</p>	<p>P74 本文 ・さらに日本は、95年に尖閣諸島の沖縄県への編入、次いで1905年に竹島の島根県への編入を閣議決定し、自国の領土とする意思を公式に示した。 P74 地図『明治初期の日本の国境と外交』 ・竹島と示され、1905年 島根県に編入と記載</p> <p>P150 地図『サンフランシスコ平和条約で定まった日本の領域』 ・サンフランシスコ平和条約による日本の領土を表示し、竹島と示されている。 ・竹島は日本が放棄した領土に含まれていない。</p> <p>P192 地図『日本のと排他的経済水域』 ・竹島と示されている。 P192 コラム ・竹島は、サンフランシスコ平和条約締結時に、日本の領土として扱われていたが、韓国は竹島に警備隊員などを常駐させ、灯台を設置するなど不法占拠を継続している。</p>	<p>P74 本文 ・さらに日本は、95年に尖閣諸島の沖縄県への編入、次いで1905年に竹島の島根県への編入を閣議決定し、自国の領土とする意思を公式に示した。 P74 地図『明治初期の日本の国境と外交』 ・尖閣諸島と示されている。</p> <p>P150 地図『サンフランシスコ平和条約で定まった日本の領域』 ・サンフランシスコ平和条約による日本の領土を表示し、尖閣諸島と示されている。</p> <p>P192 地図『日本のと排他的経済水域』 ・尖閣諸島と示されている。 P192 コラム ・尖閣諸島については領土問題は存在しないが、中国や台湾が領有を主張している。特に海洋進出を目指す中国では、反日運動が発生するなど、日本の領有に強く反発している。</p>
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	<p>P70 本文 ・ロシアとの国境は日露和親条約で、択捉島以南の島々は日本領(現在の北方領土)、得撫島以北の千島列島をロシア領と定められた。 ・一方、樺太(サハリン)には国境が定められず、アイヌ・ロシア人・日本人が雑居していた。明治初年にはロシアが樺太に軍隊を増派して勢力をのばしたのに対し、新政府は移民を送り込んだが、衝突が生じて北海道に波及することを恐れて軍隊は派遣しなかった。開拓と防衛を担うべく北海道に旧士族を移住させる屯田兵制度がつけられたのは1874(明治7)年で翌75(明治8)年に従来からのロシアの要求に応じて樺太・千島交換条約を結び、樺太を放棄して千島列島を領有することになった。この時、樺太や千島のアイヌは、居住地の選択と移住をせまられ、日本とロシアそれぞれの国民として、地理的に分離された。</p> <p>P72 地図『19世紀後半の日本の領土と対外関係』 ・樺太・千島交換条約による国境を表示</p> <p>P167 地図『日本の領土』 ・サンフランシスコ平和条約による日本の領土として択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島が示されている。</p>	<p>P73 本文 ・尖閣諸島と竹島は無人島であったが、日本人漁民の進出がみられたことから、尖閣諸島は日清戦争中、竹島は日露戦争中に日本の領土に編入された。</p> <p>P167 地図『日本の領土』 ・竹島と示されている。</p>	<p>P73 本文 ・尖閣諸島と竹島は無人島であったが、日本人漁民の進出がみられたことから、尖閣諸島は日清戦争中、竹島は日露戦争中に日本の領土に編入された。</p> <p>P167 地図『日本の領土』 ・尖閣諸島と示されている。</p>

「別紙2-4」 【我が国の領域をめぐる問題の扱い】（歴史総合）

発行者	教科書番号	教科書名	北方領土に関する記述の概要	竹島に関する記述の概要	その他
山川	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	<p>P63 本文 ・日本は幕末以来、ロシアとの国境問題を抱えていた。政府は1869(明治2)年に蝦夷島を北海道と命名して明確に日本の領土とした。さらに、1875(明治8)年にはロシアと樺太・千島交換条約を結んで、樺太(サハリン)をロシア領とし、千島列島のすべてを日本の領土と定めた。</p> <p>P63 注釈 ロシアとの国境問題 ・日露和親条約で択捉島以南は日本領(現在の北方領土)、得撫島以北の千島列島はロシア領と定められたが、樺太は国境を設けずに両国の雑居地となり、現地での争いが多発した。</p> <p>P63 地図 『明治維新後の外交と国境の画定』 ・日露和親条約による国境と樺太・千島交換条約による国境を表示</p> <p>P150 地図 『サンフランシスコ平和条約の規定による日本の領土』 ・択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島が囲われた枠に、未解決と表示</p> <p>P150 注釈 北方領土 ・択捉島・国後島・歯舞群島・色丹島はサンフランシスコ平和条約で日本が放棄した領土には含まれてはならず、日本の固有の領土であるが、現在まで事実上、ロシアの支配下にある。1956年(昭和31)の日ソ共同宣言の際、日本はこれら4島の返還を求めたが、ソ連は歯舞群島・色丹島の2島を返還すると提案した。2島返還には日本国内やアメリカの反対があったため、交渉は折り合わず、日ソは将来、平和条約の締結後に2島を返還すると合意した。</p>	<p>P63 地図 『明治維新後の外交と国境の画定』注記 ・竹島は1905(明治38)年1月に、他国が占領した形跡がないことを確認のうえ、日本の領土に編入された。</p> <p>P150 地図 『サンフランシスコ平和条約の規定による日本の領土』 ・竹島と示されている。</p>	<p>P63 地図 『明治維新後の外交と国境の画定』注記) ・尖閣諸島は1895(明治28)年1月、竹島は1905(明治38)年1月に、他国が占領した形跡がないことを確認のうえ、日本の領土に編入された。</p> <p>P150 地図 『サンフランシスコ平和条約の規定による日本の領土』 ・尖閣諸島と示されている。</p>

「別紙2-4」 【我が国の領域をめぐる問題の扱い】（歴史総合）

発行者	教科書番号	教科書名	北方領土に関する記述の概要	竹島に関する記述の概要	その他
山川	709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	<p>P35 地図『おもな開港地と国境』 ・日露和親条約による国境を表示 P35 本文 ・隣接しているロシアとは、日露和親条約で択捉島と得撫島のあいだに国境を定め、のちに樺太(サハリン)は従来通りに両国人の雑居地とした。</p> <p>P51 地図『明治維新後の日本の領土』 ・日露和親条約による国境が表示 P51 本文 ・北方では、ロシアとのあいだで樺太(サハリン)の帰属が問題になっていた。この問題は1875(明治8)年、得撫島以北の千島列島を日本領、樺太をロシア領とする樺太・千島交換条約が結ばれることで解決された。以後、明治政府は北海道の開発に、より力を注いだ。 P51 注釈 ・択捉島以南はのちに北方領土と呼ばれ、千島列島には含まれない。</p> <p>P111 地図『サンフランシスコ平和条約による日本の領土』 ・択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島が囲われた枠に、未解決と表示 P111 本文 ・1951(昭和26)年9月、サンフランシスコで開かれた講話会議で、サンフランシスコ平和条約が、日本と48カ国とのあいだで調印された。 ・また、平和条約に調印しなかったソ連とのあいだでは領土問題が未解決なものとして残った。</p> <p>P159 本文 ・ロシアとのあいだでは北方領土問題が未解決であり、中国・韓国とも領土について見解の相違がある。</p> <p>見開き 地図『現代の日本』 ・択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島と示されている。</p>	<p>P51 注釈 ・竹島は他国の領有権が主張されていないことを確認のうえ、1905(明治38)年に日本の領土に編入された。</p> <p>P111 地図『サンフランシスコ平和条約による日本の領土』 ・竹島と示されている。</p> <p>P159 本文 ・ロシアとのあいだでは北方領土問題が未解決であり、中国・韓国とも領土について見解の相違がある。</p> <p>見開き 地図『現代の日本』 ・竹島と示されている。</p>	<p>P51 注釈 ・尖閣諸島は1895(明治28)年に、他国の占領がないことが確認され、日本の領土に編入された。</p> <p>P111 地図 『サンフランシスコ平和条約による日本の領土』 ・尖閣諸島と示されている。</p> <p>P159 本文 ・ロシアとのあいだでは北方領土問題が未解決であり、中国・韓国とも領土について見解の相違がある。</p> <p>見開き 地図 『現代の日本』 ・尖閣諸島と示されている。</p>

「別紙2-4」 【我が国の領域をめぐる問題の扱い】（歴史総合）

発行者	教科書番号	教科書名	北方領土に関する記述の概要	竹島に関する記述の概要	その他
第一	710	高等学校 歴史総合	<p>見開き 地図『日本の領土と排他的経済水域』 ・択捉島と示され、国境を表示</p> <p>P87 地図『明治初期の外交』 ・択捉島・色丹島・歯舞群島・国後島が北方領土として示されている。</p> <p>P87 本文 ・日露和親条約では、樺太は日露両国民の雑居地とされ、国境は明確ではなかった。政府は、北海道ほどに樺太の開発がすまさないなどの事情から、樺太放棄を決定し、1875年、ロシアとの間で樺太・千島交換条約を結んだ。これ以後、樺太はロシア領、千島全島は日本領となった。</p> <p>P164 地図『平和条約規定による日本領』 ・国後島・択捉島・色丹島・歯舞群島が示され、北方領土問題と記載されている。</p> <p>P164 本文 ・1951年9月、日本は48カ国との間にサンフランシスコ平和条約を結んだ。この条約で日本は、朝鮮の独立を認め、台湾・南樺太・千島列島を放棄した。</p> <p>P167 史料『サンフランシスコ平和条約』（1951年） ・第1条、第2条、第3条、第14条が示されている。</p> <p>P167 本文 ・サンフランシスコ平和条約に参加または調印しなかったソ連との国交回復、韓国・中国との国交正常化はその後実現したものの、現在も領土問題などが生じている。</p> <p>P183 本文 ・ソ連とは領土問題を事実上棚上げする形で1956年に日ソ共同宣言が調印され、日ソの国交が回復した。両国間の平和条約は、いずれ領土問題が解決した際に改めて結ばれるとされた。</p>	<p>見開き 地図『日本の領土と排他的経済水域』 ・竹島と示されている。</p> <p>P87 地図『明治初期の外交』注釈 ・竹島は、1905年に島根県への編入が閣議決定された。</p> <p>P164 地図『平和条約規定による日本領』 ・竹島の位置が示され、竹島問題と記載されている。</p>	<p>見開き 地図『日本の領土と排他的経済水域』 ・尖閣諸島と示されている。</p> <p>P87 地図『明治初期の外交』 ・尖閣諸島は、1895年に沖縄県に編入された。</p> <p>P164 地図『平和条約規定による日本領』 ・尖閣諸島が示され、尖閣諸島問題と記載されている。</p>

「別紙2-4」 【我が国の領域をめぐる問題の扱い】（歴史総合）

発行者	教科書 番号	教科書名	北方領土に関する記述の概要	竹島に関する記述の概要	その他
第一	711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	<p>見開き 地図『日本の領土と排他的経済水域』 ・択捉島と示され、国境を表示</p> <p>P69 地図『明治初期の外交と国境の画定』注釈 ・日露和親条約では択捉島とウルップ島のあいだを国境と定めた。国境より南の択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島を北方領土とよぶ。 P69 本文 ・日本は、1875年にロシアとの国境を明確にするため、樺太・千島交換条約を結んだ。1854年の日露和親条約では、樺太は、日露両国民の雑居地となっていたが、これにより、樺太はロシア領、千島全島が日本領となった。</p> <p>P160 地図『サンフランシスコ平和条約による日本の領域』注釈 ・択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島と示され、国境を表示 P160 本文 ・1951年9月、サンフランシスコ講和会議が開かれ、日本は48カ国とのあいだにサンフランシスコ平和条約を結んだ。この条約で、日本は朝鮮の独立を認め、台湾・南樺太・千島列島を放棄した。</p> <p>P171 写真『日ソ共同宣言の調印(1956)』注釈 ・日本固有の領土として国後島・択捉島・歯舞群島・色丹島の返還を要求する北方領土問題は、平和条約締結までもちこされることになった。</p>	<p>見開き 地図『日本の領土と排他的経済水域』 ・竹島と示されている。</p> <p>P69 地図『明治初期の外交と国境の画定』注釈 ・1905年、日本政府は竹島の島根県への編入を閣議決定した。</p> <p>P160 地図『サンフランシスコ平和条約による日本の領域』注釈 ・竹島と示されている。</p>	<p>見開き 地図『日本の領土と排他的経済水域』 ・尖閣諸島と示されている。</p> <p>P69 地図『明治初期の外交と国境の画定』注釈 ・尖閣諸島は、1895年に日本領(沖縄県)に編入された。戦後、アメリカの施政下におかれたが、沖縄返還にともない、日本に復帰した。</p> <p>P160 地図『サンフランシスコ平和条約による日本の領域』注釈 ・尖閣諸島と示されている。</p>

「別紙2-4」 【我が国の領域をめぐる問題の扱い】（歴史総合）

発行者	教科書番号	教科書名	北方領土に関する記述の概要	竹島に関する記述の概要	その他
明成社	712	私たちの歴史総合	<p>P51 コラム ・日本とロシアとの国境は、1855(安政2)年に結ばれた日露和親条約により、択捉島以南が日本領、得撫島以北がロシア領とされ、樺太は両国雑居の地と定められた。しかし、樺太では日本とロシアで競いあうように移民を送りこむこととなり、摩擦はさらに増えた。こうした事態に対し、1874(明治7)年、榎本武揚がロシアと交渉にあたった。その結果、1875(明治8)年、樺太での日本の権益を放棄する代わりに、得撫島以北の千島18島をロシアが日本に譲渡することが取り決められた。この千島樺太交換条約により、日本とロシアとの領土問題は決着した。</p> <p>P125 コラム、地図 ・北方四島(択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島)は、北海道に付属する島嶼であり、放棄した千島列島にふくまれない。ポツダム宣言受諾による停戦後、ソ連軍が侵攻を開始し、軍事占領したことで、ソ連(現ロシア)が戦争で得た領土と称して不法占拠をつづけている。</p> <p>P141 本文 ・しかし、北方領土問題と平和条約締結はのちの課題として残された。</p>	<p>P51 コラム ・江戸時代初期より、米子の人々が朝鮮半島に近い鬱陵島周辺でアワビ採取やアシカ捕獲をおこなっていた。竹島は、隠岐から鬱陵島への途中にあったので、停泊地やアシカやアワビの漁獲地としても利用されていた。20世紀初頭、アシカ猟が本格的におこなわれるようになると、1904(明治37)年に隠岐島民はその安定をはかるために、竹島の領土編入および10年間の貸し下げを日本政府に願い出た。政府は、島根県の意見を聴取し、竹島の名称を正式に決めた。翌年、閣議決定により竹島を島根県に編入し、領有の意思を内外に宣明した。その際、他国の抗議をうけることはなく、すでに確立していた竹島に対するわが国の領有権は、国際法上も諸外国に対して明確に示された。</p> <p>P125 コラム、地図、写真 ・1952(昭和27)年、韓国は「李承晩ライン」を一方的に設定してその内側に竹島を取りこんだ。わが国の抗議を無視し、武装警察を上陸させ、監視所や灯台などを設置し不法占拠しつづけている。</p> <p>P141 本文 ・同年、漁業協定により李承晩ラインは撤廃されたが、日本固有の領土である竹島は今も不当に占拠されたままである。</p>	<p>P51 コラム ・尖閣諸島周辺では、明治の中ごろから沖縄の人々が漁業をおこなっていた。日本政府は、再三にわたり現地調査をおこない、尖閣諸島が無人島であるだけでなく、清国の支配がおよんでいないことを確認したうえで、1895(明治28)年1月14日の閣議決定により、正式に日本の領土に編入した。翌年には、民間の実業家が政府の許可を得て本格的な開拓を開始した。これによって多くの日本人が尖閣諸島に居住し、漁業を中心にカツオ節工場や羽毛の採取などの諸産業を営むようになった。</p> <p>P125 コラム、地図、写真 ・東シナ海に浮かぶ尖閣諸島は戦後、1972(昭和47)年に沖縄が日本に返還されるまでアメリカの施政下であり、返還後は沖縄に復帰した。1968(昭和43)年に国連の機関が「付近の海底は石油資源埋蔵の可能性が高い」と発表すると、突然、中国・台湾が領有権を主張しはじめた。とくに中国は数百隻もの漁船団を送りこむなどの示威行為をおこなった。2010(平成22)年9月、尖閣諸島の近海において、中国籍の不審船が日本の海上保安庁の巡視艇に体当たりする事件が発生した。この事件を契機に、中国は尖閣諸島の領有を主張し、公船による領海侵犯などをくり返している。わが国は尖閣諸島を実効支配しており、他国の不法侵入から領土を守る努力をつづけている。</p>

※ 我が国の領域をめぐる問題として、ここでは「北方領土」及び「竹島」に関わる記述の概要について調査した。

「その他」については、「北方領土」及び「竹島」以外で、我が国の領域をめぐる問題の扱いについて、特記すべき事項があれば記載している。

「別紙2-5」【国旗・国歌の扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	新選歴史総合	有	P72 コラム P82 本文・写真	植民地支配と植民地の近代 近代化と現代的な諸課題 統合・分化	・1936年のベルリン五輪のマラソンに朝鮮出身の選手が日本代表として金メダルを獲得し、日の丸と君が代で代表表彰されたことを紹介 ・国定教科書『尋常小学読本』、日本語読本に掲載された国旗を紹介
東書	702	詳解歴史総合	有	P90 本文・写真	近代化と現代的な諸課題 統合・分化	・国定教科書『尋常小学読本』、日本語読本に掲載された日の丸を紹介
実教	703	詳述歴史総合	有	P87 写真 P195 写真	近代的な国際関係と国境・領土の画定 冷戦と脱植民地化	・「アイヌ学校の開校式」の中の日の丸 ・「アジア＝アフリカ会議」の写真
実教	704	歴史総合	有	P117 コラム P128 写真	移動する人々 トラック島便り 日中戦争と戦時体制	・『尋常小学校国語読本 巻9』トラック島便りの中の現地の子供たちが君が代を歌うという記載を紹介 ・「南京陥落を祝う雑誌」の写真
清水	705	私たちの歴史総合	有	P33 写真 P84 写真	明治維新期の日本と世界 戦争が変えた人々の暮らし	・「琉球を巨人に見立てた風刺画」の中の日の丸 ・日の丸とともに「撃ちてしまむ」のポスターを掲示している写真
帝国	706	明解 歴史総合	有	P81 写真	文明開化とジャポニズム	・「摂州神戸海岸繁栄之図」の中の日の丸
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	無			
山川	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	有	P11 写真	歴史資料とは何だろうか	・「憲法発布上野賑」の中の日の丸
山川	709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	無			
第一	710	高等学校 歴史総合	有	P27 写真 P183 写真 P191 写真	歴史の特質と資料 西側諸国の多極化と日本の動向 沖縄返還	・「日英同盟記念の絵葉書」の中の日の丸 ・「日本の国連加盟」国連本部前での国旗掲揚 ・沖縄復帰記念式典の写真の中の日の丸
第一	711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	有	P65 写真 P136、137 写真 P173 写真	文明開化をリードした思想家 世界は戦争の道を歩みはじめた 奇跡の高度成長がはじまった	・「咸臨丸」の中の日の丸 ・「日独伊三国防共協定の成立」、「盧溝橋事件」、「南京陥落を喜ぶ人々」の中の日の丸 ・「日韓基本条約の調印」の中の日の丸
明成社	712	私たちの歴史総合	有	P63 コラム P152 コラム	国旗・国家の由来 沖縄の祖国復帰	・日の丸、「君が代」が日本の国柄をあらわす国旗・国歌として広く用いられてきたことを説明するとともに、1999年「国旗及び国歌に関する法律」が制定されたことなどを紹介 ・1964年、東京オリンピックの際の沖縄での国旗掲揚について紹介

「別紙2-6」【北朝鮮による拉致問題の扱いについて】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	新選歴史総合	無			
東書	702	詳解歴史総合	無			
実教	703	詳述歴史総合	無			
実教	704	歴史総合	有	P180 年表 P183 本文	グローバル化と現代世界 地域紛争と対立	・2002 拉致被害者5名帰国 ・朝鮮戦争以来、休戦の続く韓国と北朝鮮の南北統一の実現の困難さとともに北朝鮮による日本人拉致問題も未解決のまま残されている。
清水	705	私たちの歴史総合	無			
帝国	706	明解 歴史総合	無	P 188 コラム P192 本文	北朝鮮における拉致問題 日本と東アジアの関係	・2002年9月、日朝首脳会談において、北朝鮮は初めて拉致を認めたと謝罪し、日朝平壤宣言を表明したが、北朝鮮は拉致問題を「解決済み」として、その他の拉致被害者の調査は進展していない。 ・日本と中国・韓国との間では、第二次世界大戦や植民地支配に関する歴史認識の違いが課題となり、北朝鮮の交渉は、核兵器・ミサイル発射問題や日本人拉致問題もあって停滞している。
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	無			
山川	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	無			
山川	709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	有	P159 本文	外交と安全保障	・北朝鮮とのあいだには、北朝鮮によるミサイル発射や日本人拉致の問題が存在する。
第一	710	高等学校 歴史総合	無			
第一	711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	無			
明成社	712	私たちの歴史総合	有	P167 写真	民主化の進展	・「拉致被害者家族と面会する安倍晋三首相とアメリカのドナルド・トランプ大統領」 ・2002年の日朝首脳会談を経て、5人の拉致被害者が帰国したが、いまだ被害者全員の帰国は実現していない。日本人のみならず、韓国でも被害が確認されており、国際的解決が求められている。

「別紙2-7」【防災や自然災害の扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	新選歴史総合	有	P84、85 年表 P142、143 年表 P181 写真 P189 写真 P191 写真・年表 P194 本文	国際秩序の変化や大衆化と私たち グローバル化と私たち 世界秩序の変容と日本 拡散する地域紛争 世界秩序の変容と日本 岐路に立つ世界と日本 生活と文化 グローバル化 現代的な諸課題の形成と展望	・1923 関東大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災 ・被災地で復興活動にあたる自衛隊 ・オーストラリア森林火災 ・被災地で活動する海外からの救助隊 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災 ・戦後開拓と東日本大震災
東書	702	詳解歴史総合	有	P95 年表 P161 年表 P171 コラム P213 本文 P217 年表 P224、225 年表	国際秩序の変化や大衆化と私たち グローバル化と私たち キューバ危機と核兵器の管理 現代的な諸課題の形成と展望 世界各地の文化が身近に 世界史年表③	・1923 関東大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災 ・「核の平和利用とIAEA」に東日本大震災の記載 ・統合・分化-「戦後開拓と東日本大震災」に東日本大震災の記載 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災 ・1923 関東大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2004 スマトラ沖大地震(インド洋大津波) ・2011 東日本大震災
実教	703	詳述歴史総合	有	P147 コラム・写真 P187 年表 P231 本文 P242、243 年表	ひろがる社会運動と普通選挙の実現 第2編まとめ グローバルな認識へ 年表	・関東大震災の被害と社会への影響 ・関東大震災直後の東京 ・1923 関東大震災 ・東日本大震災の被害 ・1923 関東大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災

「別紙2-7」【防災や自然災害の扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
実教	704	歴史総合	有	P27 本文・写真 P113 コラム・写真 P151 本文・写真 P180 年表 P187 コラム・図・写真 P202、203 年表	江戸時代の生産・流通と諸改革 ひろがる社会運動と普通選挙の実現 グローバル化と私たち グローバル化と現代世界 グローバル化のなかの日本 年表 1701-2020年	・「浅間山の大噴火」、浅間山噴火の被害とアイスランドのラキ火山の噴火の影響 ・「大震災記念」、関東大震災の被害と社会への影響 ・「阪神淡路大震災」、「東日本大震災」、避難所での様子 ・2011 3.11東日本大震災 ・「東日本大震災の震度」「福島第一原子力発電所事故」、東日本大震災の被害 ・1923 関東大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災
清水	705	私たちの歴史総合	有	見開き 写真 P69 本文 P116 年表 P129 本文 P131 本文 P132 コラム、写真 P148、149 年表	世界の気候分布と環境の変化 大衆社会の形成 石油危機と価値観の転換 情報通信技術の発達 冷戦終結後の紛争と平和への取り組み 災害と私たち 年表	・「台風19号で決壊した千曲川の堤防」 ・関東大震災の被害と復興 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災 ・災害時に被災者が必要な情報を得る方法 ・阪神淡路大震災と東日本大震災などの災害への国境を越えた国際支援 ・「阪神・淡路大震災の被害」、「高校生ボランティアの活躍」「天皇、皇后の被災地訪問」「日本による海外被災地の復興援助」、阪神淡路大震災と東日本大震災の被害とこれからの危機管理 ・1923 関東大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2004 スマトラ沖大地震、インド洋大津波 ・2011 東日本大震災
帝国	706	明解 歴史総合	有	巻頭4 年表 P105 コラム、年表、写真 P117 表 P127 本文 P154 年表 P155、156 年表 巻末3 年表	日本の歴史年表 関東大震災と都市復興計画 日本における大衆社会の形成 政党政治の断絶と満州事変 グローバル化と私たち 「グローバル化」について考察していこう！ 世界の歴史年表	・1923 関東大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災 ・「世界と日本で起こった主な災害」「廃墟となった日本橋通り」「震災後に都市計画に基づいて造られた道路」「震災後に隅田川に架けられた橋」、関東大震災の被害と都市復興計画と防災 ・「第一次世界大戦期とその後の物価指数」の表内に関東大震災の記載 ・関東大震災が経済に与えた影響 ・2011 東日本大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災 ・1923 関東大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災

「別紙2-7」【防災や自然災害の扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	有	P130 本文・写真 P228 本文 P233,234 本文	社会・労働運動の進展と大衆の政治参加 国際社会のなかの日本 現代日本の諸課題	・「関東大震災の被害状況」、関東大震災の被害と社会への影響 ・阪神・淡路大震災の被害 ・東日本大震災や熊本地震、北海道胆振東部地震、西日本豪雨等の自然災害の被害
山川	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	有	P99 本文 P108 年表 P110 本文 P114 年表 P200、201 年表・写真 P225 本文・写真 P241 表、写真 P246～249 年表	世界経済の変容と日本 消費社会と大衆文化 消費社会と大衆文化 世界恐慌の時代 世界秩序の変容と日本 現代の東アジア 現代と私たち 年表	・関東大震災の被害と社会への影響 ・1923 関東大震災 ・関東大震災の被害 ・1923 関東大震災 ・「阪神・淡路大震災」、倒壊した道路 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災 ・「東日本大震災で救助隊を派遣した国と地域」、阪神・淡路大震災の被害 ・「社会的課題についての科学技術への期待」「事故後の東京電力福島第一原子力発電所」、防災・エネルギー ・1923 関東大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災
山川	709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	有	P93 本文、写真 P159 本文、写真 P168～173 年表	世界恐慌 日本の諸課題 年表	・「関東大震災の様子」、関東大震災の被害と社会への影響 ・「阪神・淡路大震災」「横倒しとなった高速道路の写真」「東日本大震災の発生を伝える新聞」「東京電力福島第一原子力発電所の事故」、阪神・淡路大震災、東日本大震災等での被害と防災意識の向上 ・1923 関東大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災
第一	710	高等学校 歴史総合	有	P134 コラム、写真 P207 コラム P209 写真 P211 コラム P222～227 年表	大正デモクラシーと日本社会の変化 情報通信技術の発展と環境問題への対応 現代の文化と社会 災害の記憶と防災 年表	・「関東大震災」の被害の様子 ・「東日本大震災と原発事故」、東日本大震災の被害 ・「SNSによる情報発信」、災害時に被災者が必要な情報を得る方法 ・自然災害と歴史 ・1923 関東大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災

「別紙2-7」【防災や自然災害の扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
第一	711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	有	P100 年表 P121 コラム、写真 P166 年表 P174、175 年表 P192、193 本文、写真 P195 コラム・写真 P204、205 年表	第一次世界大戦と国際協調体制の成立 大衆が政治を動かしたはじめた 冷戦と冷戦の終結後の世界 日本の高度経済成長期の暮らし 時代の転換点に立って 大震災と文化財 年表	・1923 関東大震災 ・「関東大震災」の被害と社会への影響 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災 ・2011 東日本大震災 ・「西日本豪雨災害で倒壊した家屋のがれきや土砂をかきだすボランティア」、東日本大震災や阪神・淡路大震災などの被害 ・「東日本大震災で被災した文化財の救出作業」、東日本大震災や阪神・淡路大震災での文化財の被災 ・1923 関東大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災
明成社	712	私たちの歴史総合	有	P95 本文、写真 P182～187 年表	大正デモクラシーと政党政治 年表	・「関東大震災」の被害 ・1923 関東大震災 ・1995 阪神・淡路大震災 ・2011 東日本大震災

「別紙2-8」【一次エネルギー及び再生可能エネルギーの扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	新選歴史総合	有	P142 年表 P148、149 本文 P155 本文 P163 本文 P174 本文 P179 コラム・写真 P190 年表 P192 写真 P194 写真 P202、203 年表	グローバル化と私たち グローバル化への問い 脱植民地化の進展と地域紛争 日本と欧米先進国の経済成長 石油危機と経済の自由化 冷戦の終結と世界 生活と文化 グローバル化 現代的な諸課題の形成と展望 戦後開拓と東日本大震災 世界史年表	・1973 石油危機 ・資源・エネルギーと地球環境 ・第1次石油危機 ・石油危機 ・第1次石油危機と第2次石油危機 ・「チェルノブイリ原発事故」チェルノブイリ原発事故の被害と影響 ・1973 石油危機 ・福島沖の洋上風力発電 ・福島第一原子力発電所の爆発事故 ・1973 第1次石油危機 ・1986 チェルノブイリ事故 ・2011 福島第一原子力発電所事故
東書	702	詳解歴史総合	有	P11 本文・表 P53 本文 P161 年表 P166、167 本文 P171 コラム P183 本文 P192 本文 P197 コラム・写真 P213 本文 P216 年表 P224、225 年表	世界とつながる旅行の歴史 世界経済の変化と日本の産業革命 グローバル化と私たち グローバル化への問い キューバ危機と核兵器の管理 日本と欧米諸国の経済成長 石油危機と経済の自由化 冷戦の終結と世界 戦後開拓と東日本大震災 世界各地の文化が身近に 世界史年表	・イギリスの石炭産出量の変化や推移 ・石炭、石油、電気をエネルギー源として利用 ・1973 石油危機 ・資源・エネルギーと地球環境 ・「核の平和利用とIAEA」の内容に原子力エネルギーの記載 ・石油危機 ・第1次石油危機と第2次石油危機 ・「チェルノブイリ原発事故」チェルノブイリ原発事故の被害と影響 ・福島第一原子力発電所の爆発事故 ・1973 石油危機 ・1973 第1次石油危機 ・1986 チェルノブイリ事故 ・2011 福島第一原子力発電所事故

「別紙2-8」【一次エネルギー及び再生可能エネルギーの扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
実教	703	詳述歴史総合	有	P45 本文・コラム P191 コラム P212 本文・年表 P214 本文 P216、217 コラム P224 表・本文 P231 本文・写真 P242、243 年表	イギリス産業革命 グローバル化と私たち グローバル化への問い 多極化する世界 時代をみる 石油危機と世界経済 近現代史のなかのエネルギー 日本の経済大国化 グローバルな認識へ 年表 1701-2020年	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命をきっかけにエネルギー源や動力が木材から石炭、人力や自然の力から蒸気へと移行 資源・エネルギーと地球環境 冷戦下後の社会の様子、石油危機 チェルノブイリ原発事故 第1次石油危機 産業革命以後の生産活動をささえたエネルギーの変遷 原子力発電エネルギーの在り方への反発 各国CO2の排出量の推移からみるエネルギー政策 第1次石油危機 第2次石油危機 第1次石油危機を受け、省エネルギーや代替エネルギーの開発 「福島第一原子力発電所事故」 1986 チェルノブイリ事故 2011 福島原発事故
実教	704	歴史総合	有	P168、167 年表・写真 P170 本文・写真 P175 コラム・写真 P187 写真 P202、203 年表	多極化する世界 石油危機と世界経済 緊張緩和から冷戦の終息へ グローバル化のなかの日本 年表 1701-2020年	<ul style="list-style-type: none"> 第1次石油危機と第2次石油危機 「チェルノブイリ原子力発電所事故のあとに建設されたドーム」 石油等のエネルギーの大量消費から省エネルギー 「19世紀の石油採掘の様子」 「事故直後のチェルノブイリ原発」チェルノブイリ原発事故の被害 福島第一原子力発電所事故 1986 チェルノブイリ事故 2011 福島原発事故
清水	705	私たちの歴史総合	有	P39 本文 P93 コラム・写真 P99 表 P116、117 本文・表 P128 コラム P148、149 年表	列強による帝国主義 核と原子力エネルギー グローバル化と私たち 石油危機と価値観の転換 情報通信技術の発達 年表	<ul style="list-style-type: none"> 第2次産業革命、石油と電力 原子力の平和利用と普及と課題 チェルノブイリ原子力発電所 世界の一次エネルギー消費量 第1次石油危機 第2次石油危機 石油危機とその対応、原油価格の推移 情報通信技術の役割と可能性 1986 チェルノブイリ原子力発電所事故 2011 福島第一原子力発電所事故

「別紙2-8」【一次エネルギー及び再生可能エネルギーの扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
帝国	706	明解 歴史総合	有	巻頭4 年表 P156 本文・年表・写真 P161 本文・表 P166 本文・コラム P173 本文 P177、178 本文・コラム P195 コラム 巻末3 年表	日本の歴史年表 グローバル化について考察している！ 冷戦下における日本の復興 中東戦争とパレスチナ問題 「経済大国」日本の模索 イスラーム復興と冷戦への影響 4部まとめ 世界の歴史年表	<ul style="list-style-type: none"> ・1973 第1次石油危機 ・1973 石油危機 ・福島第一原子力発電所の事故 ・高度経済成長を続け、石油危機を乗り越え「経済大国」となった。 ・1973 石油危機 ・石炭から石油へのエネルギー転換 ・第4次中東戦争の開始と第1次石油危機 ・日本の石油輸入先 ・1979 第2次石油危機 ・第2次石油危機 ・「事故発生後の原子力発電所」チェルノブイリ原発事故の被害 ・グローバル化についての意見の一つに「石油」 ・1973 第1次石油危機
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	有	P127 写真 P176 本文・表 P207 本文 P214 本文・写真 P229 本文 P233、234 本文・写真	社会・労働運動の進展と大衆の政治参加 グローバル化への問い 世界経済の転換 グローバル化する世界 冷戦の終結と国際情勢 グローバル化する世界 現代の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・旧猪苗代第1発電所 ・資源・エネルギーと地球環境 ・日本の1次エネルギー国内供給構成と自給率の推移 ・主要国の1次エネルギー供給構成 ・石油危機とOAPEC ・「チェルノブイリ原子力発電所事故」チェルノブイリ原子力発電所事故の被害 ・高速増殖炉「もんじゅ」事故 ・原子力発電と自然災害、東海村臨界事故 ・「東京電力福島第一原子力発電所の事故」

「別紙2-8」【一次エネルギー及び再生可能エネルギーの扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
山川	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	有	P163 表 P180 年表 P183 P200 年表 P203 本文 P219 本文・写真 P241 表・写真 P248、249 年表	グローバル化と私たち 資源・エネルギーと地球環境 冷戦と世界経済 軍拡競争から緊張緩和へ 核拡散防止条約の成立 世界秩序の変容と日本 石油危機 冷戦の終結とソ連の崩壊 現代と私たち 年表	・地球環境問題とその影響、石化燃料 ・1979 スリーマイル島原子力発電所事故 ・1986 チェルノブイリ原子力発電所事故 ・1995 高速増殖炉「もんじゅ」事故 ・1999 東海村原子力発電所臨海事故 ・2011 東京電力福島第一原子力発電所事故 ・スリーマイル島原子力発電所事故 ・1973 第1次石油危機 ・1979 第2次石油危機 ・1986 チェルノブイリ事故 ・産油国の「石油景気」第1次石油危機 ・ソ連の改革と冷戦の終結 ・「チェルノブイリ原子力発電所」チェルノブイリ原子力発電所事故の被害 ・防災・エネルギー ・「事故後の東京電力福島第一原子力発電所」東京電力福島第一原子力発電所事故の被害と影響 ・1986 チェルノブイリ原子力発電所事故 ・2011 東京電力福島第一原子力発電所
山川	709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	有	P122 表 P134 本文・表 P138、139 本文・表 P140 本文 P157 本文・写真 P159 写真・本文 P172、173 年表	グローバル化への問い 資源・エネルギーと地球環境 高度経済成長の光と陰 経済構造の変化 日本の経済大国化 現代社会の諸問題 日本の諸課題 年表	・各国の1次エネルギーの消費量 ・1973 第1次石油危機 ・1979 第2次石油危機 ・高度経済成長と石炭から石油へのエネルギー転換 ・第1次石油危機 ・第2次石油危機 ・1970年代の石油危機からま石炭から石油へのエネルギー源の転換 ・原子力発電と原子力発電所の事故 ・東京電力福島第一原子力発電所事故などからクリーンエネルギーの開発へ ・「東京電力福島第一原子力発電所の事故」事故の影響 ・1973 第1次石油危機 ・1979 第2次石油危機 ・1986 チェルノブイリ原発事故 ・2011 東京電力福島第一原子力発電所

「別紙2-8」【一次エネルギー及び再生可能エネルギーの扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
第一	710	高等学校 歴史総合	有	P195 本文 P196 本文・写真 P201 コラム・写真 P207 本文 P226 年表	国際秩序の変容と21世紀の世界 石油 チェルノブイリ原子力発電所事故 情報通信技術の発展と環境問題への対応 年表	・石油危機(オイル＝ショック) 深刻なインフレーション ・石油開発の歴史、産油国の政治、石油の価格変動と地球環境 ・石油は現代文明を根底からささえる資源 ・チェルノブイリ原子力発電所事故の被害と影響 ・「チェルノブイリ原子力発電所事故」「石棺」 ・石炭や石油などの化石燃料、再生可能エネルギーの利用 ・東日本大震災と原発事故「福島第一原子力発電所事故」 ・1986 チェルノブイリ原子力発電所事故
第一	711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	有	P180、181 本文・写真 P184 コラム P187 コラム P192 本文・写真 P204 年表	世界をゆるがした2つのショック 石炭から石油へエネルギー革命 冷戦が終わり、そしてソ連は消滅した 時代の転換点に立って 年表	・第4次中東戦争ため、石油危機オイル＝ショック ・「石油危機による買いただめパニック」の写真 ・石油産業の盛衰、炭鉱の閉山とその活用、エネルギー革命と石油メジャー ・「チェルノブイリ原子力発電所事故」事故の被害と影響 ・「福島第一原子力発電所事故」事故の被害と影響 ・福島第一原子力発電所が被災、原子力発電への信頼 ・1986 チェルノブイリ原子力発電所事故
明成社	712	私たちの歴史総合	有	P56 本文 P85 本文 P98 本文 P154、155 本文 P164 注釈 P186、187 年表	欧米列強による世界分割 日本やアジアの経済成長 大量消費社会と大衆文化 市場経済の変容と課題 冷戦の終結 世界と日本の年表	・石油と電力を動力源とした技術革新(第2次産業革命) ・水力発電事業の展開、エネルギーの転換 ・石炭と蒸気にかわる新しいエネルギーとして石油と電力 ・第1次石油危機と第2次石油危機 ・代替エネルギーの開発 チェルノブイリ原発事故 ・1973 第1次石油危機 ・1979 スリーマイル島原発事故 ・1986 チェルノブイリ原子力発電所で爆発事故

「別紙2-9」【持続可能な社会づくりの扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	新選歴史総合	有	P2 本文 P189 本文・写真 P192 本文	歴史から現在の課題を考える 岐路に立つ世界と日本 これからの世界 現代的な諸課題の形成と展望	・持続可能な社会の発展 ・2015年の国連サミットで、誰一人取り残さない持続可能な社会を実現するために、「持続可能な開発目標(SDGs)」が決定 ・持続可能な開発目標(SDGs) ・「持続可能な社会」をどのように実現するか
東書	702	詳解歴史総合	有	P3 本文 P167 本文 P208、209 本文 P210 本文	歴史から現在の課題を考える グローバル化と私たち 岐路に立つ世界と日本 現代的な諸課題の形成と展望	・持続可能な社会の発展 ・持続可能な社会の形成 ・持続可能な開発目標(SDGs) ・2015年の国連サミットで、誰一人取り残さない持続可能な社会を実現するために、「持続可能な開発目標(SDGs)」が決定 ・「持続可能な社会」をどのように実現するか
実教	703	詳述歴史総合	有	P230 写真・本文 P231 本文	グローバルな認識へ グローバルな認識へ	・持続可能な開発目標(SDGs)によって貧困などの克服することが課題 ・持続可能な開発目標(SDGs)
実教	704	歴史総合	有	P188 コラム	持続可能な社会をめざして	・わたしたちのできるSDGsへのとりくみ ・2015年の国連サミットで「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択
清水	705	私たちの歴史総合	無			
帝国	706	明解 歴史総合	有	P194 本文 P195 コラム P197 コラム	グローバル化による国際社会の変容 これまでの学習を振り返り現代的な諸課題の形成と展望を考えよう 現代的な諸課題の展望 考えよう!	・2015年に、パリ協定が採択され、同15年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」が国際目標として示された。 ・SDGsの視点 ・持続可能な開発目標(SDGs)の17ゴール
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	有	P232 本文	現代の課題	・「持続可能な社会」の考え方 ・2015年の国連サミットで「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択
山川	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	無			
山川	709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	有	P163 コラム P172 年表	グローバル化と私たち 年表	・持続可能な開発目標(SDGs)の17ゴール ・2015 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」国連採択

「別紙2-9」【持続可能な社会づくりの扱い】(歴史総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	扱いの 有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
第一	710	高等学校 歴史総合	有	P5 コラム P112 冒頭 P114 冒頭 P168 冒頭 P170 冒頭 P203 本文 P207 本文	本書の構成と利用方法 近代化と現代的な諸課題 近代化と現代的な諸課題 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 地域紛争の頻発とアメリカの動揺 情報通信技術の発展と環境問題への対応	・SDGsの17の目標 ・SDGsの1、2、10の目標のアイコンを記載 ・SDGsの10、16の目標のアイコンを記載 ・SDGsの10、16の目標のアイコンを記載 ・SDGsの16、17の目標のアイコンを記載 ・国連は2015年に「持続可能な開発目標(SDGs)」を採択し、2030年までに貧困の撲滅と持続可能な社会を実現することをめざす。 ・「持続可能な開発目標(SDGs)」でも環境問題への対策が重視
第一	711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	有	P3 コラム P191 本文・コラム	目次 グローバル化の光と陰	・SDGsの17の目標 ・国連は2015年に「持続可能な開発目標(SDGs)」を採択し、2030年までに貧困の撲滅と持続可能な社会を実現することをめざす。
明成社	712	私たちの歴史総合	有	P73 コラム P130 本文 P151 本文 P175 コラム	近代化と現代的な諸課題 グローバル化と私たち 高度経済成長下の日本 現代的な諸課題の形成と展望	・アフリカの「緑の大壁運動」持続可能な生活形態や持続可能型社会 ・持続可能な社会を実現するための考える ・地球環境サミットで「持続可能な開発」をめざすリオ宣言を発表 ・持続可能な社会の実現に向けた取組

「別紙2-10」【オリンピック、パラリンピックの扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	新選歴史総合	有	P72 コラム P76 年表 P135 写真、年表 P142 写真、年表 P190、191 年表 P202、203 年表	植民地支配と植民地の近代 19世紀後半の日本と世界 生活と文化(近代化) グローバル化と私たち 生活と文化(グローバル化) 世界史年表	<ul style="list-style-type: none"> ・1936年のベルリン五輪のマラソンに朝鮮出身の選手が日本代表として金メダルを獲得し、日の丸と君が代で表彰された。 ・1896年 第1回近代オリンピック大会 ・「前畑がんばれ！」ベルリン・オリンピックのようすはラジオで実況中継された。 ・「1964年の東京オリンピックの開会式(東京・国立競技場)」 ・1964 東京オリンピック・パラリンピック ・1964 東京オリンピック・パラリンピック ・1972 札幌冬季オリンピック ・1998 長野冬季オリンピック・パラリンピック ・1964 東京オリンピック・パラリンピック ・1988 ソウルオリンピック ・2008 北京オリンピック
東書	702	詳解歴史総合	有	P92 年表 P160、161 写真、年表 P224、225 年表	年表 グローバル化と私たち 世界史年表③	<ul style="list-style-type: none"> ・1896 第1回近代オリンピック大会 ・「東京オリンピック」 ・1964 東京オリンピック・パラリンピック ・1972 札幌オリンピック ・1964 東京オリンピック・パラリンピック ・1988 ソウルオリンピック ・2008 北京オリンピック
実教	703	詳述歴史総合	有	P194 年表 P207 写真、コラム P243 年表	冷戦と脱植民地化 日本の国際社会復帰と高度経済成長 年表	<ul style="list-style-type: none"> ・1964 東京オリンピック ・「東京オリンピックの開会式で入場する日本選手団」、高度経済成長時代と日本の変貌。 ・1964 東京オリンピック ・2021 東京オリンピック・パラリンピック(予定)
実教	704	歴史総合	有	P154 年表 P164、165 本文、写真 P202、203 年表	冷戦と脱植民地化 日本の国際社会復帰高度経済成長 年表	<ul style="list-style-type: none"> ・1964 東京オリンピック ・「東京オリンピック開会式(1964年)国立競技場(当時)を行進する日本選手団」、1964年には、アジアではじめてのオリンピックが東京で開かれた。 ・1964 東京オリンピック ・2020 東京オリンピック・パラリンピック(延期)

「別紙2-10」【オリンピック、パラリンピックの扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
清水	705	私たちの歴史総合	有	P5 写真 P71 コラム、写真、図 P113 本文、写真 P116 年表 P148、149 年表	日本とスポーツの歴史 オリンピックの歩み 高度経済成長 石油危機と価値観の転換 年表	<ul style="list-style-type: none"> ・「オリンピックでの日韓の選手」スピードスケートのレースのあとに、健闘をたたえ合う様子(2018年)。 ・「ベルリン大会での成果リレーの様子」「メキシコ大会で人種差別に抗議するパフォーマンスをおこない、追放された二人(1968年)」、三つの大会が中止になった理由などを紹介。 ・「オリンピックをひかえた東京(1963年)」、日本の復興と経済成長を世界に示す象徴となった。 ・1964 東京オリンピック ・1964 オリンピック東京大会 ・1988 オリンピックソウル大会 ・2008 オリンピック北京大会
帝国	706	明解 歴史総合	有	巻頭4 P138 コラム、写真 P155 写真、年表 P161、162 本文、写真、グラフ、コラム、注釈 P181、182 コラム、写真 巻末3 年表	日本の歴史年表 幻の東京オリンピック 「グローバル化」について考察していこう！ 冷戦下における日本の復興 歴史に迫る！ 世界の歴史年表	<ul style="list-style-type: none"> ・1912 オリンピック初参加(ストックホルム大会) ・1964 東京オリンピック ・2021 東京オリンピック・パラリンピック大会(予定) ・「1940年の東京オリンピックのポスター」「駒沢オリンピック公園」、日本は1912年からオリンピックに参加し、1920年には日本選手が初めてメダルを獲得した。 ・「東京オリンピックに向けて整備が進む日本橋付近の首都高速」 ・「東京オリンピックの開会式(1964年10月10日)」、「石川達三「開会式に思う」『朝日新聞』1964年10月11日の記事」、東京オリンピックとともに経済復興を国内外に印象つけた。 ・「メキシコオリンピックでの抗議」、男子200m走で優勝したアメリカ選手が人種差別への抗議を示し、拳を高く突き上げた。 ・1964 東京オリンピック ・2021 東京オリンピック(予定)
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	有	P169 本文 P196、167 本文、注釈	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 日本の高度経済成長	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピックに関する規程を記す「オリンピック憲章」(2019年版)には、オリンピックの根本原則が記されており、オリンピックを題材に「平和」と「平等」について考えてみよう。 ・東京で第18回オリンピック競技大会が開催され、大阪で日本万国博覧会が開催されたが、これらは日本の経済成長を国内外にアピールする場となった。 ・「集団就職列車」は、東京オリンピックが開催された年にピークを迎え、若者たちは「金の卵」と呼ばれてもてはやされた。

「別紙2-10」【オリンピック、パラリンピックの扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
山川	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	有	P156、157 本文、図 P166、167 年表、写真 P174 年表 P192 年表 P246～249 年表 裏表紙 写真	開催地からみるオリンピック 冷戦と世界経済 東西両陣営の動向と1960年代の社会 日本の高度経済成長 年表 裏表紙	・夏季オリンピック大会は世界規模のスポーツの祭典であり、その始まりにおいては、開催地や参加国、また女性の参加についてもさまざまな課題があった。 ・「オリンピック東京大会」、1964年の大会はアジア初のオリンピックとなり、太平洋戦争後の日本の復興を世界に印象づけた。 ・1964 オリンピック東京大会開催 ・1964 オリンピック東京大会 ・1964 オリンピック東京大会 ・1940 札幌オリンピック中止。東京オリンピック中止 ・1980 モスクワオリンピック、日本・西独・米など不参加 ・1984 ロサンゼルスオリンピック、ソ連・東欧不参加 ・2008 中国、北京オリンピック開催 ・2020 東京オリンピック開催延期 ・2008 北京オリンピックの会場
山川	709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	有	P89 本文、写真 P135 本文、写真、図 P172、173 年表	大衆文化としてのスポーツ、野球 高度経済成長の光と影 高度経済成長の光と影	・「ベルリン＝オリンピック」、日本はベルリンで開かれたオリンピックで11個のメダルを獲得した。 ・「東京オリンピックの開会式」、東京オリンピックが開かれた1964年には東海道新幹線が開通した。 ・1964 東京オリンピック開催 ・1980 モスクワ＝オリンピック開催、日本・西ドイツ・米国など不参加
第一	710	高等学校 歴史総合	有	表紙 P93 写真 P133 コラム、写真 P187 本文、写真 P226、227 年表	表紙 帝国主義の時代 情報通信技術をマスメディアの発達 日本の高度経済成長とアジア 年表	・「東京オリンピックの開会式」 ・「アテネオリンピックのスタジアム」 ・「ドイツ映画『オリンピア』のポスター」、政治家はラジオや新聞でわかりやすく政策を伝え、宣伝映画をつくって成果をアピールした。 ・「東京オリンピックの開会式」1964年開催の東京オリンピックと1970年開催の万博は、高度経済成長期の象徴であった。 ・1964 東京オリンピック

「別紙2-10」【オリンピック、パラリンピックの扱い】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
第一	711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	有	P128 コラム、写真 P150 写真 P166 年表 P175 写真 P186 コラム、写真 P188 写真 P204、205	第二次世界大戦と国際秩序の形成 第二次世界大戦後の世界と日本 冷戦と冷戦終結後の世界 日本の高度経済成長期のくらし 冷戦終結とソ連の解体 冷戦終結後のアメリカと国際社会 年表	・「映画『オリンピア』」、ナチ党が宣伝に利用した1936年のベルリンオリンピックのドキュメンタリー映画。 ・「ロンドンオリンピックの開会式」、ショーのなかで国民医療制度(1948年開始)を世界に誇った。 ・1964 東京オリンピック ・東京オリンピックの開会式(1964年10月10日) ・「モスクワオリンピック参加を訴える柔道の山下泰裕選手(1980)」、1979年にソ連がアフガニスタンに侵攻すると、アメリカはこれに抗議して、1980年のモスクワオリンピックのボイコットを西側諸国に訴え、日本もこれに追随し、選手団の派遣を取りやめた。 ・「内戦の犠牲者の墓地」(ボスニア・ヘルツェゴビナ)の写真の中に「オリンピックスタジアム」の表記 ・1964 東京オリンピック
明成社	712	私たちの歴史総合	有	表紙、扉絵 写真 P6 コラム、写真 P78 写真 P137 コラム、写真 P150 写真 P152 コラム、写真 P180~185 年表	表紙 身近なものから歴史を考える ラジオに見るマスメディアの発達 グローバル化と私たち 高度経済成長下の日本 沖縄の祖国復帰 世界と日本の年表	・「東京オリンピックの開会式」 ・「国際色豊かな講道館の柔道夏期講習会」、オリンピック種目となった日本の柔道。 ・ベルリンオリンピック水泳表彰式(前畑秀子金メダル) ・「東京パラリンピックで宣誓をする日本選手」、東京パラリンピックは東京オリンピック後の1964年11月、23カ国428名が参加して開催された。 ・「東京オリンピック大会の開会式」 敗戦国日本の国際社会への復帰を印象づけた。 ・「那覇市内を走る聖火ランナー」、聖火ランナーは万感の思いで沖縄の街をかけぬけた。 ・1896 第1回国際オリンピック大会開催(アテネ) ・1964 東京オリンピック

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	構成上の工夫
東書	701	新選歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な見方・考え方が身に付けられるよう、社会的事象の推移や因果関係に関する記述や問いが設定されている。 ・歴史に関する興味をひかせるために、人物などのコラムが豊富に設定されている。 ・視覚的資料は豊富で、全体的に見やすく配されている。 ・現代的課題との関係がわかりやすく示され、生徒の関心を高めやすい内容となっている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。また、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・二次元コード及びURLがあり、動画や資料等を活用することができる。
東書	702	詳解歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象の推移や因果関係、歴史の大きな枠組みをつかみやすいように記述を工夫している。 ・歴史に関する興味をひかせるために、人物などのコラムが豊富に設定されている。 ・視覚的資料は豊富で、地図を大きく示すなど全体的に見やすくなるように工夫している。 ・各テーマの最初と最後に問いが示され、円滑な導入とまとめがしやすいように工夫がなされている。 ・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・二次元コード及びURLがあり、動画や資料等を活用することができる。
実教	703	詳述歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・各テーマに関する問いを通して、現代との因果関係を考察させる構成になっている。 ・各時代の特徴的な出来事について紹介するコラムを配置するなど、歴史の全体像をつかみやすいように工夫している。 ・見開きの本文の周囲に関連する地図や図表が配置され、視覚的なイメージを高める工夫をしている。 ・重要な単元の前後には考察をさせる場面が配置され、思考力、判断力、表現力等の育成につながる構成になっている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。また、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・二次元コード及びURLがあり、動画や資料等を活用することができる。
実教	704	歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な事象の変遷や現代に残る諸問題を過去の出来事と関連付けながら考察させる工夫をしている。 ・歴史への興味・関心を高めるコラムなどが随所に配置され、歴史学習の理解を支援するよう工夫をしている。 ・見開きの本文の周囲に関連する地図や画像が大きめに配置され、視覚的なイメージを高める工夫をしている。 ・現代的課題との関係がわかりやすく示され、生徒の関心を高めやすい内容となっている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。また、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・二次元コード及びURLがあり、動画や資料等を活用することができる。
清水	705	私たちの歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・各テーマの問いを通して、各事象が現代にどのように影響したかを考えさせる工夫をしている。 ・コラムを通して、個々の具体的な事象や時代背景の理解を深め、歴史への興味・関心をひく工夫をしている。 ・見開きで左側は画像やグラフなどの資料、右側は上部が史料、下部が本文という読み取り易い工夫をしている。 ・学習に関する指示は明瞭で何をすべきか学習者によく伝わる文体に工夫された構成となっている。 ・見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・二次元コードがあり、動画や資料等を活用することができる。
帝国	706	明解 歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の中の日本という設定が明確で、世界と日本の歴史の関連や影響を強く意識した構成になっている。 ・脚注で中学校との関連が提示されている点が特徴的で、コラムは非常に豊富で見やすく関心を高める構成となっている。 ・全体的に視覚的資料が多く、各項の最初に掲載され、考察する際の題材としても頻繁に使用する構成となっている。 ・本文の内容と関連するコラム、視覚的資料がバランスよく配置されており、問いを設定しやすい構成となっている。 ・カラーユニバーサルデザインに配慮している。また、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。 ・二次元コード及びURLがあり、動画や資料等を活用することができる。

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(歴史総合)

発行者	教科書番号	教科書名	構成上の工夫
山川	707	歴史総合 近代から現代へ	<ul style="list-style-type: none"> 各テーマの問いを通して、各事象が現代にどのように影響したかを考えさせる工夫をしている。 歴史に関する興味をひかせるために、人物などのコラムが豊富に設定されている。 視覚的資料は豊富で、地図を大きく示すなど全体的に見やすくなるように工夫している。 現代的課題との関係がわかりやすく示され、生徒の関心を高めやすい内容となっている。 多くの人に見やすよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 二次元コードがあり、動画や資料等を活用することができる。
山川	708	現代の歴史総合 みる・読みとく・考える	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な事象の推移や因果関係、歴史の大きな枠組みをつかみやすいように記述を工夫している。 各時代の特徴的な出来事について紹介するコラムを配置するなど、歴史の全体像をつかみやすいように工夫している。 見開きの本文の周囲に関連する地図や図表が配置され、視覚的なイメージを高める工夫をしている。 学習に関する指示は明瞭で何をすべきか学習者によく伝わる文体に工夫された構成となっている。 多くの人に見やすよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 二次元コードがあり、動画や資料等を活用することができる。
山川	709	わたしたちの歴史 日本から世界へ	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を活用する問いが設定されるなど、推移や因果関係を考えさせる工夫がなされている。 高校生にとって理解しにくい語句については、巻末に用語解説が豊富に設けられ、歴史への興味・関心をひく工夫をしている。 図版、地図、表が大きく掲載されており、視覚的に理解できるよう留意されている。 テーマの冒頭や資料には、問いが設けられ、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 多くの人に見やすよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 二次元コードがあり、動画や資料等を活用することができる。
第一	710	高等学校 歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> 事象の推移や差異、因果関係を関連付ける授業ができるよう各項目の配置が工夫されている。 コラムが各ページにバランスよく配置され、多面的・多角的に歴史を思考できるよう工夫している。 本文と対応して見やすく配置され、数も充実しており、視覚的なイメージを高める工夫をしている。 豊富な図像資料をもとに、近代化・大衆化・グローバル化について考察できる内容となっている。 ユニバーサルデザイン(カラーバリエーションを含む)に配慮している。 二次元コード及びURLがあり、動画や資料等を活用することができる。
第一	711	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来	<ul style="list-style-type: none"> 時代の扉を紹介するページが設けられ、事象の推移や差異、因果関係の関連付けがしやすい工夫している。 コラムが各ページにバランスよく配置され、歴史的な見方・考え方を育成しやすい工夫をしている。 地図や図表などが大きく、読み取り易く、本文と関連させた学習ができるよう工夫している。 現代的課題との関係がわかりやすく示され、生徒の関心を高めやすい内容となっている。 ユニバーサルデザイン(カラーバリエーションを含む)に配慮している。 二次元コード及びURLがあり、動画や資料等を活用することができる。
明成社	712	私たちの歴史総合	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的な事象を相互に比較する問いが多く設定され、歴史への興味・関心を高める工夫をしている。 歴史に関する興味をひかせるために、人物などのコラムが豊富に設定されている。 視覚的資料は豊富で、地図を大きく示すなど全体的に見やすくなるように工夫している。 「第1の問い」から本時の狙いと概要を把握させ、生徒自身に「第2の問い」を考察させるような構成になっている。 多くの人に見やすよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れている。 二次元コードがあり、動画や資料等を活用することができる。